

# ANNUAL REPORT

## 消防年報

平成19年(2007)版



島根県  
出雲市消防本部

平成20年(2008)発刊

# 2007

---

## 【表紙説明】

### 平田一式飾り

一式飾りは、菅原道真公をまつる平田天満宮の例祭「天神さん」の奉納行事として飾られます。

起源は寛政5年(1793)2月、町内寺町に住む表具師・桔梗屋十兵衛という風流人が茶器一式で大黒天像を作り、天満宮に奉納したのが始まりといわれ、いつしか天神さん祭りになくてはならない民俗行事となっています。

この一式飾りは、生活用品の陶器、仏具、茶器、金物など道具一式を自由に使い分けて作り上げる独特な飾りです。

また、毎年平田天満宮奉納一式競技大会が行なわれ、各町内の当番が飾りますが、全国的にも珍しい行事といえます。

---

## 【裏表紙説明】

### ○弁慶に関する伝承

弁慶は仁平元年(1151年)松江に生まれ、18歳から3年間本市別所町にある鱈淵寺(がくえんじ)にて修行したとされています。その後、姫路書写山、比叡山と移り、更に源義経の家来となり義経に従い国内を転戦したが、壇ノ浦の合戦で平家を滅ぼした後再び鱈淵寺に身を寄せ、この際に多くの伝説、遺品を残したとされています。特に、弁慶が大山寺から一夜で釣鐘を運んだとの伝説は広く世に知られ、その際に持ち帰ったとされる寿永2年の銘のある銅鐘は国の重要文化財に指定されています。

### ○鱈淵寺(がくえんじ)

推古2年(594)に智春上人が天皇の眼病平癒を祈り霊験があったところから、天皇の発願により建立されたといわれています。また、鱈淵寺の名前は、上人が誤って花皿を滝壺に落とされ、それを鱈(ワニザメ)が拾って浮かび上がってきたところから名づけられたといわれています。

## はしがき

この年報は、当消防本部の消防現勢及び消防行政に関する諸般の事項を集録し、その実態を広く紹介するとともに、将来の消防行政の推進に資するため編集したものです。

なお、内容については、主に平成20年4月1日現在をもって収録してあり、一部これによらないものについては、当該各表にそれぞれの年月日を記載しています。

平成20年(2008)8月

出雲市消防本部

# もくじ

## ●出雲市の概要

位置と地勢、位置図、管内図、面積・人口及び世帯数 .....	1
消防本部・署の位置及び庁舎等の現況(構造・規模) .....	2

## ●沿革

出雲市外4町広域消防組合の沿革 .....	3
平田市消防本部の沿革 .....	7
大社町消防本部の沿革 .....	9
出雲市消防本部の沿革 .....	11

## 総務編

## ●出雲市消防本部・消防署の組織及び機構

消防本部・消防署の組織及び機構 .....	13
消防隊の編成 .....	15

## ●平成19年(2007)中の主な行事 .....

16

## ●予算

平成20年度(2008)出雲市消防本部当初予算 .....	17
-------------------------------	----

## ●職員の現況

職員の配置 .....	19
消防吏員の年齢・勤務年数 .....	20

## ●消防力

消防吏員の資格免許取得状況 .....	21
消防相互応援協定状況 .....	22

## ●広報

広報実施状況 .....	22
--------------	----

## ●出雲消防音楽隊

音楽隊の概況 .....	23
--------------	----

## 予 防 編

防火クラブの現況	25
防火対象物数	27
一般予防関係事務処理件数	28
中高層建物の状況	29
危険物製造所等施設数	29
貯蔵取扱数量別危険物施設数	30
危険物関係事務処理件数	30
火薬類・高圧ガス・液化石油ガス関係事務処理件数	31

## 警 防 編

### ●火災統計

火災の概要	33
消防本部・本署・各署の出場状況	35
建物用途別損害状況	36
出火原因別火災件数・損害額	36
曜日・時間別火災発生状況	36

### ●救急統計

救急の概要	37
傷病者年齢区分別搬送人員	39
傷病程度別搬送人員	39
救急隊員の行った応急処置件数	40
救急隊員生涯教育実施状況	41
応急手当普及啓発活動状況	41

### ●救助統計

救助の概要	42
-------	----

### ●消防機械器具の現況

消防車両の配備	43
---------	----

特殊器具一覧表	44
消防車両の装備【消防本部・出雲消防署本署】	45
【出雲消防署西部分署】	46
【出雲消防署南部分署】	46
【出雲消防署斐川出張所】	46
【平田消防署】	47
【大社消防署】	47

## ●管内消防水利の状況

消防水利施設数	48
---------	----

# 指 令 編

## ●消防通信

消防通信施設状況	51
火災報知専用電話(119番)等 覚知別・受信状況の推移	53
消防テレホンガイド利用状況	54
119番受信時の口頭指導実施状況	54

## ●気象状況

気温、湿度	55
降雨量、風向・風速、気象警報等発令状況	56

# 消 防 団

## ●出雲市消防団の組織

組織図	59
階級別人員数、報酬(年額)、諸手当	60
団員の年齢、在職年数、消防ポンプ・消防用車両の現況	60
団員の職業別	60

## ●消防事務受託先(斐川町)

組織図	61
階級別人員数、報酬(年額)、諸手当	61
団員の年齢、在職年数、消防ポンプ・消防用車両の現況、職業別	62

## 出雲救難所

### ●出雲救難所の現況

組織図 .....	65
救難所員の定数及び実員 .....	66
救難所器具保有状況 .....	66
過去3ヶ年の災害等出動状況 .....	67
所員勤続年数及び年齢 .....	67

# 出雲市の概要

## ●位置図



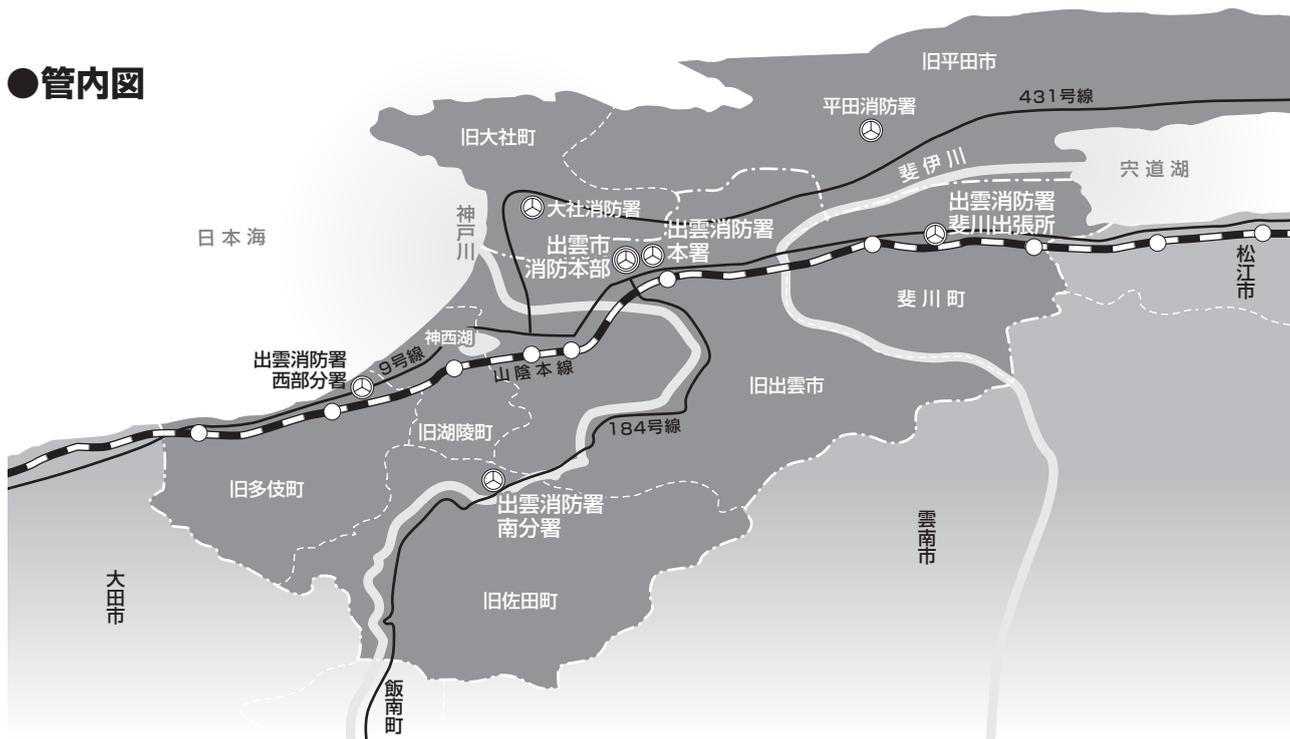
## ●位置と地勢

「出雲市」は、島根県東部に位置し、北部は国引き神話で知られる島根半島、中央部は出雲平野、南部は中国山地で構成されています。

出雲平野は、中国山地に源を発する斐伊川と神戸川の二大河川により形成された沖積平野で、斐伊川は平野の中央部を東進して宍道湖に注ぎ、神戸川は西進して日本海に注いでいます。

日本海に面する島根半島の北及び西岸はリヤス式海岸が展開しており、海、山、平野、川、湖と多彩な地勢を有しています。

## ●管内図



## ●面積・人口及び世帯数

市町別	区分	面積 (km <sup>2</sup> )	全人口 (人)	男 (人)	女 (人)	世帯数
出雲市		543.4	148,607	71,344	77,263	49,755
斐川町		80.6	28,407	13,837	14,570	8,157
計		624	177,014	85,181	91,833	57,912

●消防本部・署の位置及び庁舎等の現況（構造・規模）

区分		所在地	庁舎の構造	摘要		
所属						
出雲消防署	消防本部	出雲市渡橋町 253番地1	敷地面積 5,984.17㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造(一部4階建) 延面積 3,788.13㎡ ○訓練棟 主塔 鉄筋コンクリート造7階建 延面積 455.49㎡ 副塔 鉄骨造3階建 延面積 213.30㎡ 設備棟 鉄筋コンクリート造平屋建 床面積 28.00㎡	H10. 3.20	竣工	
	本署					
	西部分署		出雲市多伎町 久村509番地	敷地面積 993.70㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造2階建 延面積 286.24㎡	S47. 3.31 S58. 3. 5 H3. 9.20 H5. 10. 5 H15.10.30	竣工 増築 増築 増築
	南部分署		出雲市佐田町 反辺1747番地17	敷地面積 460.24㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造2階建 延面積 262.97㎡ ○車庫(兼倉庫) 木造カラー鉄板瓦棒葺き平屋建 延面積 36.00㎡	H7. 3.20 H11.10. 4	竣工 増築
	斐川出張所	簸川郡斐川町大字 荘原町2166番地1	敷地面積 1,183.78㎡ ○庁舎棟 鉄骨造3階建 延面積 1,291.00㎡	H18.11. 1	竣工	
	平田消防署	出雲市平田町 951番地1	敷地面積 391.50㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造3階建(一部4階建) 延面積 888.75㎡	S41. 1.11	竣工	
	大社消防署	出雲市大社町杵築南 1395番地	敷地面積 442.00㎡ ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造4階建 延面積 240.00㎡ ○車庫棟 鉄骨スレート造一部2階建 延面積 331.10㎡	S40. 5. 5 H11.10.20	竣工 竣工	

## 出雲市外4町広域 消防組合の沿革

昭和23年(1948)	3月 7日	消防組織法(昭和22年法律第226号)が施行され、自治体消防が発足
昭和23年(1948)	4月26日	出雲市消防本部設置(出雲市今市町743番地2)職員定数4名
昭和25年(1950)	9月 1日	常設消防組織となる(職員新規採用10名、職員定数14名)
昭和30年(1955)	3月22日	簸川郡朝山村、稗原村及び上津村が出雲市へ編入合併する
昭和30年(1955)	5月13日	出雲市消防本部が元出雲市警察署庁舎(新町興正町)へ移転
昭和31年(1956)	4月 1日	簸川郡神門村、神西村、長浜村が出雲市へ編入合併
昭和33年(1958)	5月 1日	出雲市今市町109番地1に出雲市役所庁舎が完成し、新庁舎に消防本部が移転
昭和43年(1968)	12月20日	出雲市消防庁舎(出雲市今市町106番地1市庁舎隣接)新築竣工
昭和46年(1971)	2月 4日	消防本部、消防署の義務設置の政令指定について自治省消防庁へ陳情書提出
昭和46年(1971)	3月 8日	島根県知事へ、出雲市外4町広域消防組合の設立について申請
昭和46年(1971)	3月15日	島根県知事より、出雲市外4町広域消防組合の設立許可
		出雲市外4町広域消防組合準備事務のため事務局設置
昭和46年(1971)	6月 1日	自治省告示第110号により、消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令(昭和46年政令第170号)本則に基づき次のとおり指定される
		斐川町、佐田町、多伎町、湖陵町
昭和47年(1972)	3月31日	出雲市消防本部発足24年の歴史に幕を閉じる
昭和47年(1972)	4月 1日	出雲市外4町広域消防組合消防本部出雲消防署設置 (出雲市今市町106番地1)職員定数82名
昭和47年(1972)	4月 1日	出雲市外4町広域消防組合消防職員採用 出雲市派遣職員46名、組合採用職員36名、計82名
昭和47年(1972)	5月 1日	東部分署と西部分署へそれぞれ消防職員11名、消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台を配置し消防、救急業務を開始
昭和48年(1973)	5月25日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車(3B型)の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和48年(1973)	10月17日	小型動力ポンプ積載車(軽貨物自動車)を佐田出張所へ配備
昭和49年(1974)	5月 1日	小型動力ポンプ積載車(普通貨物自動車)を佐田出張所へ更新配備
昭和50年(1975)	2月 6日	水槽付消防ポンプ自動車(2t水槽付)を購入、本署へ配備
昭和50年(1975)	6月24日	(財)日本消防協会より、消防広報車(広報装置一式装備)の寄贈を受け本署へ配備
昭和50年(1975)	12月 1日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、消防ポンプ自動車(A-2級・ジープ車)を購入、本署へ配備
昭和52年(1977)	3月23日	出雲ライオンズクラブ(会長 奥井誓雄)より、査察車の寄贈を受け予防課へ配備
昭和53年(1978)	3月27日	(社)日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車(1.6t水槽付)の寄贈を受け本署へ配備
昭和53年(1978)	4月27日	小型動力ポンプ積載車(ジープ車)を佐田出張所へ更新配備

昭和53年(1978) 11月27日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け東部分署へ配備
昭和53年(1978) 12月 8日	化学消防ポンプ自動車(3型)を購入、本署へ配備
昭和53年(1978) 12月26日	指令車を購入、本署へ配備
昭和54年(1979) 2月 7日	(社)日本損害保険協会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け西部分署へ配備
昭和54年(1979) 4月 1日	職員新規採用4名、職員定数86名
昭和54年(1979) 9月30日	出雲中央ライオンズクラブより、広報車の寄贈を受け本署へ配備
昭和54年(1979) 11月16日	消防防災施設等整備費補助事業により30メートル級はしご付消防ポンプ自動車を購入本署へ配備
昭和56年(1981) 2月 6日	(社)日本損害保険協会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け佐田出張所へ配備
昭和56年(1981) 4月 6日	救急自動車(2B型)を購入、本署へ配備
昭和56年(1981) 11月10日	(財)日本防火協会より、広報車(広報装置・映写装置一式装備)の寄贈を受け本署へ配備
昭和57年(1982) 5月30日	出雲市防火協会より、広報車の寄贈を受け予防課へ配備
昭和57年(1982) 9月10日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車(A-2級・1.5t水槽付)を購入、本署へ配備
昭和57年(1982) 9月20日	(財)日本消防協会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け本署へ配備
昭和58年(1983) 8月 8日	消防ポンプ自動車(A-2級)を購入、西部分署へ配備
昭和59年(1984) 8月31日	消防ポンプ自動車(A-2級・電動ホースカー装備)を購入、本署へ配備
昭和59年(1984) 9月30日	出雲中央ライオンズクラブより、水防防災車の寄贈を受け本署へ配備
昭和59年(1984) 11月30日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け本署へ配備
昭和60年(1985) 8月 8日	(財)日本消防協会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け西部分署へ配備
昭和60年(1985) 11月14日	救助工作車(バスケット・照明塔付)を購入、本署へ配備
昭和61年(1986) 10月 1日	消防ポンプ自動車(A-2級・ジープ車・ホースカー装備)を購入本署へ配備
昭和61年(1986) 10月 1日	大型救急自動車(22人乗)を購入、本署へ配備
昭和61年(1986) 10月10日 ~12日	防災展『防災フェア'86』を開催(出雲地区防火協会と共催)於、デパートパラオ
昭和62年(1987) 5月30日	小型ポンプ積載車(軽キャブバン・4WD)を購入、東部分署へ配備
昭和62年(1987) 8月 6日	(社)日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車(A-2級・1.5t水槽付)の寄贈を受け本署へ配備
昭和62年(1987) 10月 8日	査察車(査察1号車)を購入、予防課へ配備
昭和62年(1987) 10月17日	防災講演会 [(財)出雲地区防火協会・(社)日本損害保険協会共催] を開催 講師 日本気象協会主任技師 宮沢清治氏
昭和63年(1988) 1月 8日	島根県農業共済組合連合会より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け東部分署へ配備

昭和63年(1988)	4月 1日	救急自動車(2B型・4WD)を購入、佐田出張所へ配備
昭和63年(1988)	10月 8日	母と子の防火大会開催 [(財)出雲地区防火協会・(財)日本防火協会共催] 出雲市体育館に幼年消防、婦人防火クラブ員等1,000名参加
昭和63年(1988)	11月 16日	消防ポンプ自動車(A-2級・CD-1・4WD・電動ホースカー装備)を購入、佐田出張所へ配備
平成元年(1989)	9月 27日	広報車(広報2号車)を購入、本署へ配備
平成元年(1989)	10月 16日	出雲遊技業防犯協力会より、救急自動車(2B型・4WD)の寄贈を受け本署へ配備
平成元年(1989)	12月 22日	(株)船場、(株)装備より、救急自動車(2B型)の寄贈を受け本署へ配備
平成2年(1990)	1月 20日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車(A-2級・1.5t水槽付)を購入、本署へ配備
平成2年(1990)	4月 19日	出雲市今市町代官町火災10周年にあたり、出雲市消防団との合同による大火想定訓練を実施する
平成2年(1990)	4月 26日	小型ポンプ積載車(軽キャブバン・4WD)を購入、西部分署へ配備
平成2年(1990)	5月 8日	査察車(査察2号車)を購入、予防課へ配備
平成2年(1990)	9月 19日	(財)日本防火協会より、斐川町商工会婦人防火クラブへ広報車(防火号)の寄贈を受け本署へ配備
平成2年(1990)	11月 27日	指令車(指令1号車)を購入、本署へ配備
平成3年(1991)	4月 1日	島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣
平成3年(1991)	8月 21日	(財)日本消防協会より、救急車(2B型)の寄贈を受け本署へ配備
平成3年(1991)	9月 11日	指令車(指令2号車)を購入、本署へ配備
平成3年(1991)	10月 1日	佐田町黒山山頂に、消防無線中継所を開設
平成4年(1992)	4月 1日	職員新規採用9名(職員退職に伴う補充1名を含む)、計94名となる 職員定数112名
平成4年(1992)	6月 18日	出雲市外4町広域消防組合発足20周年記念式典挙行
平成5年(1993)	4月 1日	職員新規採用13名(職員退職に伴う補充1名を含む)、計106名となる
平成5年(1993)	4月 1日	島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣
平成5年(1993)	5月 31日	消防組合初めての救急救命士1名誕生
平成5年(1993)	12月 15日	消防防災施設等整備費補助事業により、化学消防ポンプ自動車を購入本署へ配備
平成6年(1994)	4月 1日	職員新規採用8名(職員退職に伴う補充1名を含む) 職員定数113名
平成6年(1994)	4月 1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣開始
平成7年(1995)	1月 17日	阪神・淡路大震災による火災鎮圧のため、神戸市にタンク車1台、職員5名の応援隊を派遣
平成7年(1995)	1月 25日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・電動ホースカー装備)を購入、本署へ配備
平成7年(1995)	3月 11日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設設置助成事業を受け、水槽付消防ポンプ自動車(I-A型・1.5t水槽付)を購入、本署へ配備
平成7年(1995)	3月 20日	出雲消防署佐田出張所庁舎竣工
平成7年(1995)	3月 21日	救急自動車(2B型・防振ストレッチャー装備)を東部分署へ配備

平成7年(1995)	4月1日	出雲消防署佐田出張所を出雲消防署南部分署に名称変更し、災害出場区域に出雲市乙立町を加え、業務開始
平成7年(1995)	4月1日	定数条例の改正により職員定数119名となる 職員新規採用3名(職員退職に伴う補充2名を含む)、計114名となる
平成7年(1995)	9月22日	防災2号車を本署へ更新配備
平成7年(1995)	9月25日	査察1号車を消防本部へ更新配備
平成7年(1995)	10月1日	職員新規採用3名、計117名となる
平成7年(1995)	10月26日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・4WD・電動ホースカー装備)を西部分署へ更新配備
平成8年(1996)	1月31日	積載車を出雲消防署南部分署へ増強配備
平成8年(1996)	3月15日	消防防災施設等整備費補助事業により、高規格救急自動車(日産パラメディック)を出雲消防署本署へ配備
平成8年(1996)	4月1日	職員新規採用6名(職員退職に伴う補充4名含む)、計119名となる
平成8年(1996)	9月21日 ~22日	『防災フェア'96いずも』開催
平成8年(1996)	12月1日	高規格救急自動車運用開始
平成8年(1996)	12月6日	救急自動車(2B型・9項目対応)を購入、南部分署へ配備
平成9年(1997)	9月2日	「出雲消防音楽隊」結成
平成10年(1998)	2月3日	消防防災施設等整備費補助事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型・電動ホースカー装備)を購入、本署へ配備
平成10年(1998)	3月20日	出雲消防本部・出雲消防署本署新庁舎竣工
平成10年(1998)	3月27日	消防緊急通信指令施設Ⅱ型完工
平成10年(1998)	3月30日	消防用無線通信設備完工 (財)日本消防協会より、救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け本署へ配備
平成10年(1998)	4月1日	職員新規採用3名(職員退職に伴う補充2名含む)、計120名(条例定数119名・条例定数外1名)となる うち、当消防組合に初めて女性消防吏員1名採用 消防庁舎移転に伴う消防本部、消防署の組織を改める
平成10年(1998)	4月18日 ~19日	新庁舎へ移転、業務を開始(出雲市渡橋町253番地1)
平成10年(1998)	4月27日	消防庁舎竣工式が挙行される
平成10年(1998)	9月24日	(社)日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車(I-A型・1.5t水槽付)の寄贈を受け東部分署へ配備
平成11年(1999)	10月20日	消防防災施設等整備費補助事業により、はしご付消防ポンプ自動車(30㍓級)を本署へ更新配備
平成11年(1999)	12月20日	積載車を出雲消防署東部分署へ更新配備
平成12年(2000)	4月1日	職員新規採用2名、計122名となる 職員定数121名(定数外1名)
平成12年(2000)	4月1日	(財)日本消防協会へ職員1名を研修派遣
平成12年(2000)	5月21日	防災イベント開催(於:ビッグハート出雲)
平成12年(2000)	8月24日	消防防災施設等整備費補助事業により消防ポンプ自動車(A-2級・C

平成12年(2000)	9月28日	D-1・4WD・電動ホースカー装備)を購入、南部分署へ更新配備 消防防災施設等整備費補助事業により救助工作車(Ⅱ型・4WD)を購入、本署へ配備
平成12年(2000)	12月4日	救急ワークステーション運用開始
平成13年(2001)	3月27日	(社)日本損害保険協会より、高規格救急自動車(トヨタハイメディック)1台の寄贈を受け本署へ配備
平成13年(2001)	9月20日	マイクロバスを本署へ更新配備
平成14年(2002)	3月18日	(財)日本消防協会より赤バイ3台の寄贈を受け本署へ配備
平成14年(2002)	4月1日	(財)日本消防協会へ職員1名を派遣
平成14年(2002)	7月1日	広報車を消防本部へ更新配備
平成14年(2002)	7月24日	第25回全国消防職員意見発表(国立京都国際会館)へ出場 最優秀賞を受賞
平成14年(2002)	10月18日	出雲市外4町広域消防組合発足30周年記念式典
平成14年(2002)	11月27日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を東部分署へ更新配備
平成14年(2002)	12月27日	出雲地区合併協議会消防防災専門部会及び分科会設置
平成15年(2003)	1月22日	防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車(I-A型)を購入本署へ配備
平成15年(2003)	2月1日	出雲消防イントラネット事業運用開始並びにホームページ開設
平成15年(2003)	4月1日	出雲消防救急救命センターを設置し消防署の組織を改める
平成15年(2003)	7月30日	積載車を出雲消防署西部分署へ更新配備
平成15年(2003)	11月21日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を西部分署へ更新配備
平成16年(2004)	11月8日	指令1号車を消防本部へ更新配備
平成16年(2004)	12月1日	消防防災施設等整備費補助事業により高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)を南部分署へ更新配備
平成17年(2005)	3月21日	2市4町の合併により、出雲市外4町広域消防組合解散となる

## 平田市消防本部の沿革

昭和23年(1948)	3月7日	消防組織法(昭和22年法律第226号)が施行され、自治体消防が発足
昭和26年(1951)	4月1日	平田町、灘分村、国富村、西田村、鰐淵村、久多美村、檜山村、東村の1町7村が合併して平田町となる
昭和26年(1951)	11月30日	平田町消防本部設置(職員定数4名)
昭和27年(1952)	10月	平田町消防署設置 平田町初の消防ポンプ自動車を購入配備
昭和29年(1954)	10月1日	一畑電気鉄道(株)より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和30年(1955)	1月1日	平田町、北浜村及び佐香村の1町2村が合併して平田市となる
昭和30年(1955)	3月	平田市初の消防専用無線電話機を購入、消防署に基地局、消防車に移

		動局を設置
昭和35年(1960)	4月 1日	伊野村を編入する
昭和35年(1960)	9月	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和38年(1963)	11月 9日	消防指揮車1台を購入配備
昭和41年(1966)	4月 11日	消防庁舎竣工
昭和41年(1966)	5月 26日	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和41年(1966)	11月	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
昭和43年(1968)	9月	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和44年(1969)	9月 1日	救急自動車を購入配備、救急業務開始
昭和45年(1970)	10月 1日	指揮連絡車を購入配備
昭和46年(1971)	6月 15日	消防署勤務体制が当直制から交替勤務制となる 職員数32名(内兼務職員9名)
昭和52年(1977)	7月 5日	消防ポンプ自動車を購入配備
昭和55年(1980)	11月	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け配備
昭和56年(1981)	4月 1日	兼務制度から専任制度となる 職員数27名
昭和56年(1981)	5月 7日	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
昭和56年(1981)	5月	平田ライオンズクラブより査察広報車の寄贈を受け配備
昭和57年(1982)	2月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け配備
昭和58年(1983)	10月	水槽付消防ポンプ自動車を購入配備
昭和59年(1984)	10月	消防通信指令装置を購入、通信体制の万全を図る
昭和61年(1986)	4月 23日	防火広報車を購入配備
平成元年(1989)	8月 30日	第11回島根県総合防災訓練が平田市役所前及び宍道湖公園にて実施され、消防関係者外91機関 4,400人が参加した
平成2年(1990)	1月	平田ライオンズクラブより査察広報車の寄贈を受け配備
平成2年(1990)	2月	救急自動車を購入配備
平成2年(1990)	8月	(社)日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け配備
平成2年(1990)	10月	資機材搬送車を購入配備
平成4年(1992)	2月	救助工作車、救助資機材を購入配備
平成4年(1992)	9月	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け配備
平成4年(1992)	12月	職員の定数条例の改正により職員定数36名となる
平成5年(1993)	1月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け配備
平成6年(1994)	4月 1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣
平成7年(1995)	1月 17日	阪神・淡路大震災により救助工作車1台職員4名の応援隊を派遣 平田市立病院医師、看護師、消防職員3名体制で救急隊を1月間派遣
平成8年(1996)	6月 5日	第18回島根県総合防災訓練、小津町密集地火災消火訓練が河下工業団地及び小津町地内で実施され、消防関係者外112機関 5,300人が参加
平成9年(1997)	3月	消防用無線中継施設を摺木山に設置
平成9年(1997)	8月	布勢地区において総合防災訓練を実施
平成9年(1997)	11月	平田市消防本部初めての救急救命士1名誕生
平成10年(1998)	4月 1日	職員の定数条例の改正により職員定数39名となる

平成10年(1998) 11月	高規格救急車、高度救命資機材を購入配備
平成10年(1998) 12月	消防ポンプ自動車(CD-1・B型)を購入配備
平成11年(1999) 4月 1日	島根県防災航空隊へ隊員として職員1名を派遣
平成12年(2000) 2月	島根県共済農業協同組合連合会より救急自動車(2B型)の寄贈を受け配備
平成12年(2000) 3月	資機材搬送車を購入配備
平成12年(2000) 4月 1日	職員の定数条例の改正により職員定数40名となる
平成12年(2000) 8月	第52回島根県消防大会、第44回島根県消防操法大会を平田市で開催
平成13年(2001) 5月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を購入配備
平成13年(2001) 10月	非常順次通報装置を購入設置
平成16年(2004) 8月 10日	宝くじ協会より消火通報訓練指導車の寄贈を受け配備

## 大社町消防本部の沿革

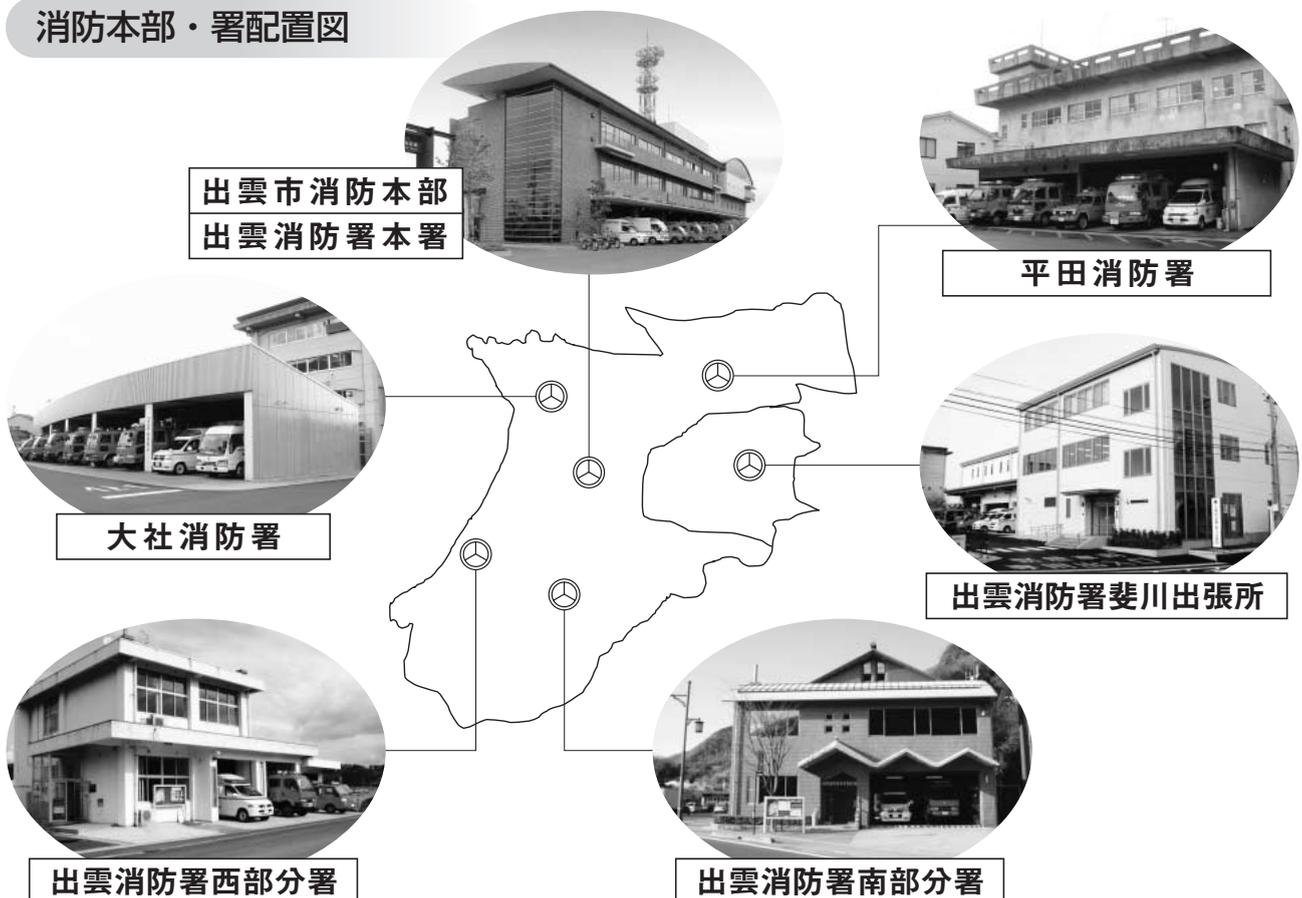
昭和23年(1948) 3月 7日	消防組織法(昭和22年法律第226号)が施行され、自治体消防が発足
昭和26年(1951) 4月 1日	大社町、荒木村、遥堪村、日御碕村、鷓鷯村が合併し大社町となる
昭和27年(1952) 7月 1日	消防団常備制度実施
昭和27年(1952) 12月 15日	消防ポンプ自動車を購入、消防団本部へ配備
昭和30年(1955) 3月 7日	消防ポンプ自動車を購入、消防団本部へ配備
昭和37年(1962) 9月 1日	大社町消防本部規則を制定し、大社町消防本部を設置
昭和37年(1962) 12月 1日	大社町消防署を設置
昭和37年(1962) 12月 26日	超短波無線局を開設(消防署へ基地局、消防車へ移動局を設置)
昭和39年(1964) 4月 1日	大社町消防本部条例定数が7名(内兼務職員2名)
昭和39年(1964) 12月 1日	消防本部及び消防署の職員12名をもって新しい消防体制を確立
昭和41年(1966) 4月 1日	大社町消防本部・消防署庁舎新築
昭和42年(1967) 4月 1日	消防職員定数23名(内兼務職員12名)
昭和42年(1967) 10月 6日	消防ポンプ自動車1台を購入、消防署へ更新配備
昭和43年(1968) 11月 18日	(社)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和44年(1969) 9月 1日	救急業務を任意実施で開始
昭和50年(1975) 11月 1日	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、消防署へ配備
昭和51年(1976) 2月 20日	島根県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和55年(1980) 9月 30日	消防ポンプ自動車(BD-1型)を購入、消防署へ配備
昭和55年(1980) 10月 5日	大社ライオンズクラブから指令車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和56年(1981) 11月 9日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け消防署へ更新配備
昭和57年(1982) 7月 1日	出雲大社教より救急自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
昭和59年(1984) 5月 31日	消防職員定数24名
昭和62年(1987) 7月 1日	(財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防署へ配備

昭和63年(1988)	1月16日	島根県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、消防署へ配備
昭和63年(1988)	4月14日	(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成2年(1990)	8月18日	ショッピングセンター『エル』において第一回ふれあい消防展を開催
平成3年(1991)	2月25日	大社ロータリークラブより指令車の寄贈を受け、消防署へ配備
平成4年(1992)	4月11日	出雲大社教より救急自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成5年(1992)	11月1日	大社町消防フェスティバルを開催
平成5年(1993)	10月29日	消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入、消防署へ配備
平成7年(1995)	1月17日	阪神・淡路大震災による島根県消火隊として神戸市へタンク車1台、職員3名の応援隊を派遣
平成7年(1995)	3月5日	第1回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成8年(1996)	1月25日	高規格救急自動車(高度救命処置用資器材一式含)を購入、消防署へ配備
平成8年(1996)	3月3日	第2回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成8年(1996)	4月1日	島根県防災航空隊へ職員1名派遣
平成8年(1996)	11月7日	大社町消防本部第1号の救急救命士誕生
平成8年(1996)	11月10日	第3回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)
平成9年(1997)	3月19日	陸上自衛隊出雲駐屯地周辺消防施設助成事業により、消防ポンプ自動車(CD-1型)を購入、消防署へ配備
平成11年(1999)	10月22日	(社)日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署へ更新配備
平成12年(2000)	12月19日	救助工作車(Ⅱ型、救助資機材含)を購入、消防署へ配備
平成13年(2001)	3月5日	(財)日本消防協会より、指令車の寄贈を受け消防署へ配備
平成13年(2001)	8月9日	出雲大社教より高規格救急自動車(高度救命処置用資器材一式含)の寄贈を受け、消防署に更新配備
平成15年(2003)	11月2日	第4回大社町防災訓練参加(住民参加型訓練)

## 出雲市消防本部の沿革

平成17年（2005） 3月22日	出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町及び大社町の合併により、出雲市外4町広域消防組合、平田市消防本部及び大社町消防本部が統合され出雲市消防本部が発足する 条例定数190名、1本部3署2分署1出張所とする 斐川町の消防事務については受託方式とする
平成17年（2005） 12月20日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入、平田消防署へ更新配備
平成18年（2006） 3月22日	摺木消防無線中継所局舎竣工
平成18年（2006） 10月27日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入、出雲消防署本署へ更新配備
平成18年（2006） 10月27日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入、出雲消防署斐川出張所へ新規配備（消防事務受託先：斐川町事業）
平成18年（2006） 11月 1日	通信指令システムを一元化し、高機能消防通信指令システムを運用開始
平成18年（2006） 11月14日	出雲消防署斐川出張所庁舎竣工式（消防事務受託先：斐川町事業）
平成19年（2007） 9月 1日	携帯・IP電話等発信位置情報通知システムを運用開始
平成20年（2008） 3月25日	水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を購入、本署へ配備

### 消防本部・署配置図



# 総務編

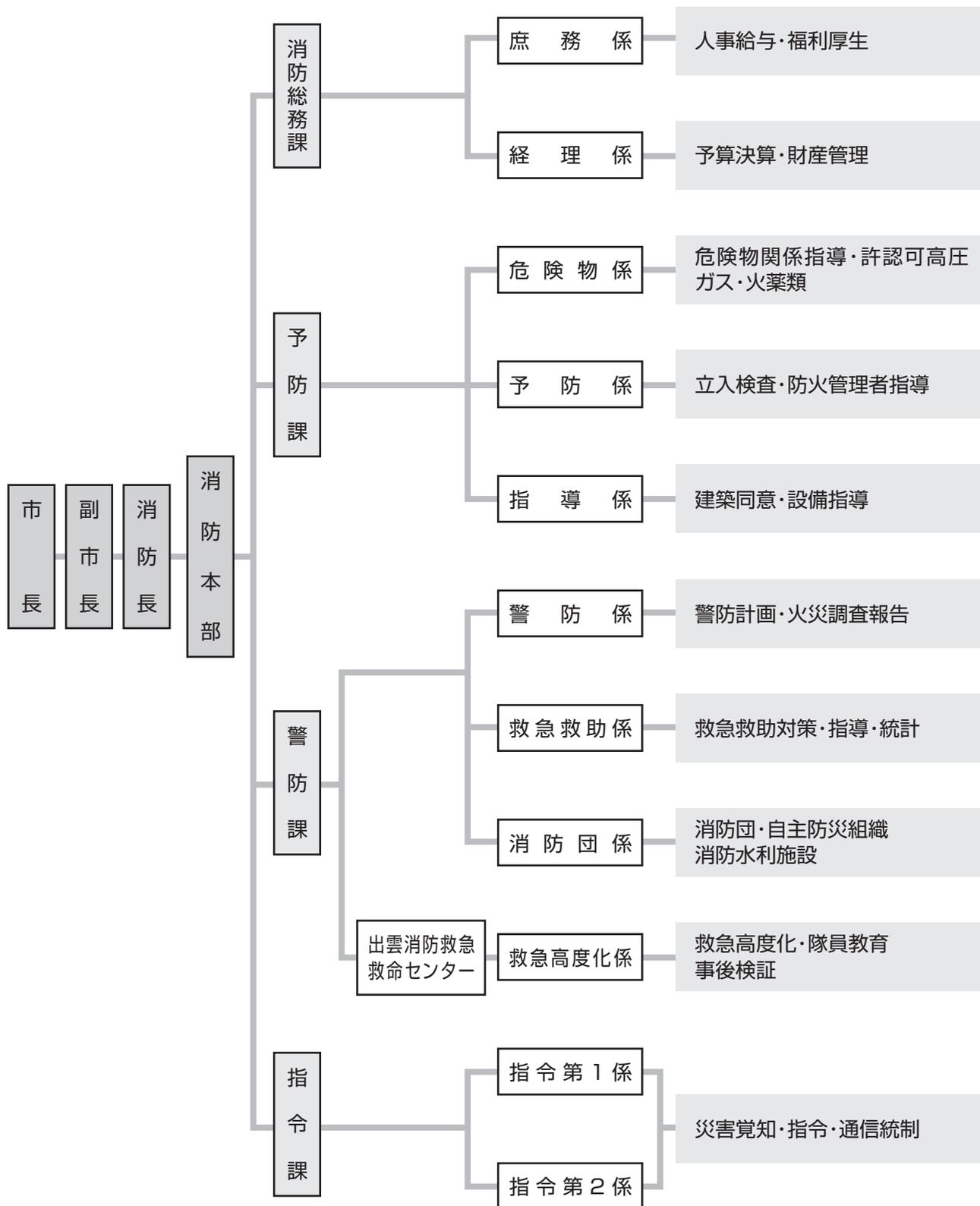


消防音楽隊 10周年記念 演奏会

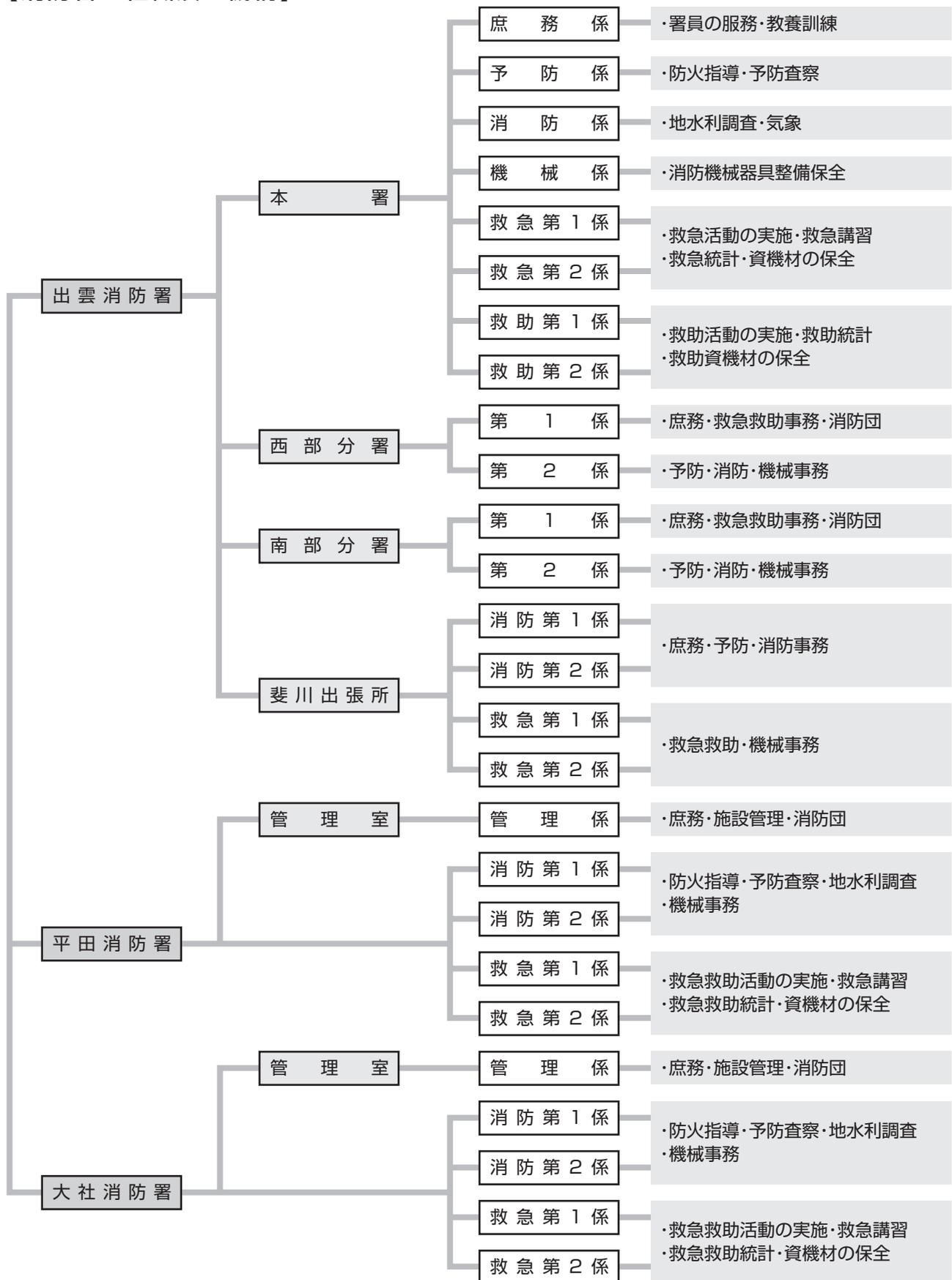
# 組織及び機構

## ●出雲市消防本部・消防署の組織及び機構

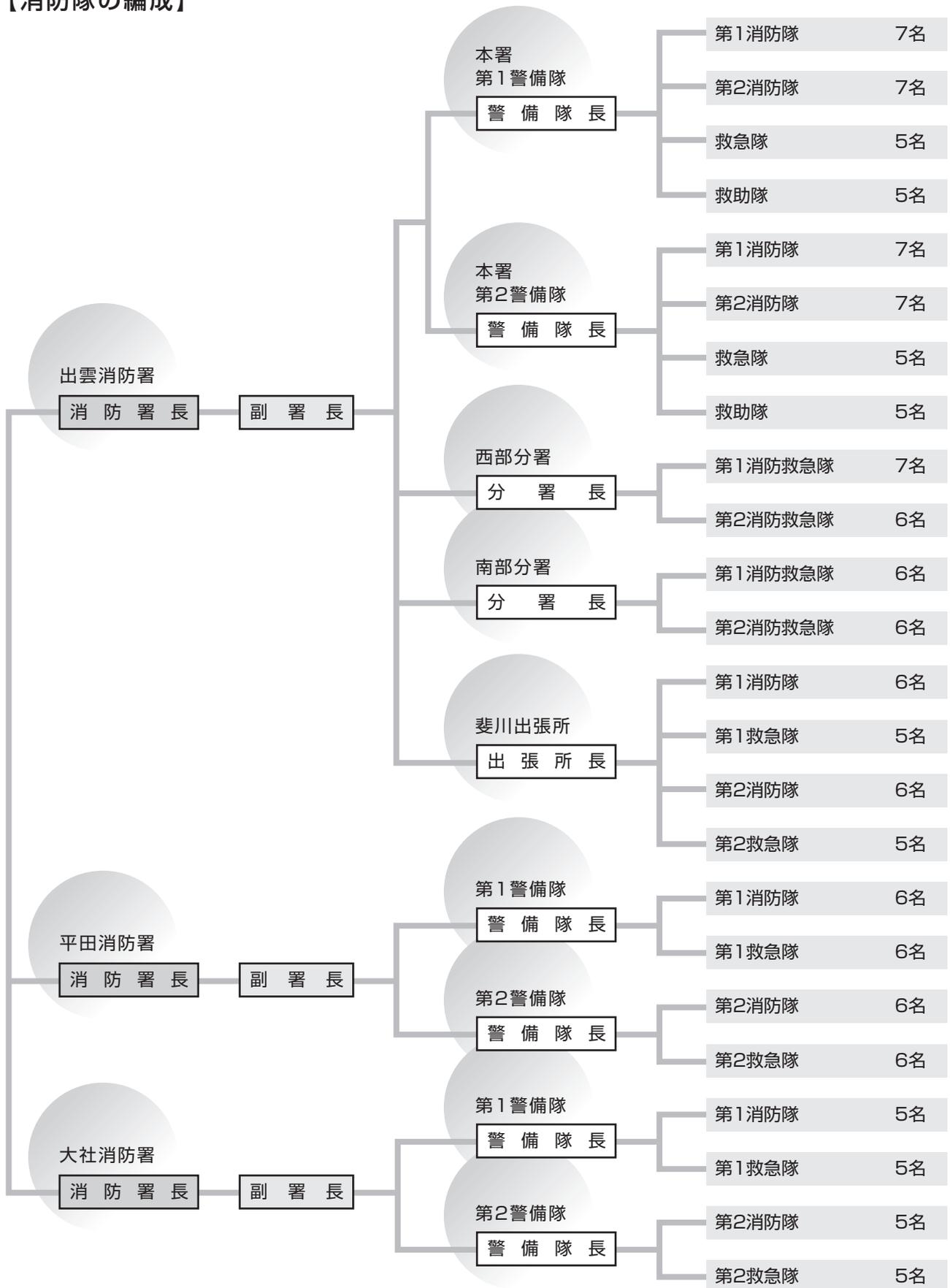
### 【消防本部の組織及び機構】



【消防署の組織及び機構】



## 【消防隊の編成】



平成19年(2007)  
中の主な行事

1月 5日	仕事始め
1月 7日	出雲市消防出初式
2月 20日	消防広報「ひまわり」第4号発行
3月 1日～ 7日	春季火災予防運動
4月 1日	出雲市消防団統合
4月 13日	水難救済会出雲救難所設立総会
4月 26日～ 27日	平成19年度全国消防長会中国支部春季役員会・総会・意見発表会(出雲市)
6月 5日	第31回島根県消防救助技術大会参加(島根県消防学校)
6月 14日～ 15日	防火管理に関する講習会(甲種)
7月 25日	第36回中国地区消防救助技術指導会参加(広島県消防学校)
7月 26日	平成19年度一日少年消防体験学習(出雲消防署)
8月 2日	防火管理者再講習(甲種)
8月 4日	第59回島根県消防大会(益田市)
8月 5日	第51回島根県消防操法大会(益田市)
8月 20日	消防広報「ひまわり」第5号発行
9月 1日	携帯・IP電話等発信位置情報通知システム運用開始
9月 3日	出雲市防災訓練(佐田町)
9月 5日	出雲空港航空機火災消火救難訓練参加(出雲空港)
9月 6日	平成19年度幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会
10月 3日	第15回消火技術訓練大会(一の谷公園)
10月 10日～ 11日	防火管理に関する講習会(甲種)
10月 25日	第18回全国女性消防操法大会出場(横浜市)
10月 25日	JR総合事故合同対応訓練
11月 4日	出雲市消防音楽隊10周年記念演奏会
11月 9日～ 15日	秋季火災予防運動
11月 28日～ 29日	中四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練参加(米子市)
12月 28日	仕事納め

# 予 算

## 平成20年度(2008)出雲市消防本部当初予算

(単位 千円)

項 目	節	予 算 額
消防費		1,921,453
常備消防費		1,530,006
	給料	705,423
	職員手当	493,400
	共済費	165,839
	賃金	2,795
	報償費	535
	旅費	8,698
	交際費	45
	需用費	68,055
	役務費	30,175
	委託料	34,502
	使用料及び賃借料	4,173
	工事請負費	0
	原材料費	82
	備品購入費	4,632
	負担金補助及び交付金	9,970
	公課費	1,682
非常備消防費		182,530
	報酬	72,422
	災害補償費	445
	報償費	40,789
	旅費	759
	交際費	70
	需用費	18,223
	役務費	4,783
	委託料	198
	使用料及び賃借料	378
	備品購入費	272
	負担金補助及び交付金	42,891
	補償補てん及び賠償金	10
	公課費	1,290

(単位 千円)

項 目	節	予 算 額
消防施設費		127,620
	旅費	55
	需用費	2,465
	役務費	190
	委託料	16,361
	使用料及び賃借料	12
	工事請負費	36,800
	原材料費	1,050
	備品購入費	55,300
	負担金補助及び交付金	15,200
	積立金	22
	公課費	165
防災費		30,297
	報酬	2,960
	報償費	1,805
	需用費	3,958
	役務費	190
	委託料	5,366
	使用料及び賃借料	592
	備品購入費	3,384
	負担金補助及び交付金	11,980
	積立金	62
防災施設費		51,000
	工事請負費	21,000
	負担金補助及び交付金	30,000
		1,921,453

市総予算との比較

(単位 千円)

区分 年次別	市総予算額	消防費予算額	市総予算と消防費との比
平成 20 年度	67,400,000	1,921,453	2.85

# 職員の現況

## ●職員の配置

区分 所属		総 計	消 防 吏 員							消 防 事 務 職 員	
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長		消 防 士
総 計		199	1	2	6	38	45	38	25	41	3
消 防 本 部	計	43 (1)	1	2 (1)	3	11	10	7	3	3	3
	消 防 長	1	1								
	次 長	2		2							
	消 防 総 務 課	8 (1)		(1)		1	5	2			
	予 防 課	9			1	3	1	1	2	1	
	警 防 課	7			1	2		1			3
	救急救命センター	3				1	2				
	指 令 課	13			1	4	2	3	1	2	
出 雲 消 防 署	計	101 (1)		(1)	1	14	23	21	15	27	0
	署 長	(1)		(1)							
	副 署 長	1			1						
	本署第1警備隊	25				3	7	3	5	7	
	本署第2警備隊	25				3	6	5	4	7	
	西 部 分 署	14				3	2	5	2	2	
	南 部 分 署	13				2	4	3	1	3	
	斐川出張所	23				3	4	5	3	8	
平 田 消 防 署	計	30			1	8	5	6	4	6	0
	署 長	1			1						
	副 署 長	1				1					
	管 理 室	2				2					
	第1警備隊	13				2	3	3	2	3	
	第2警備隊	13				3	2	3	2	3	
大 社 消 防 署	計	25 (1)			1	5 (1)	7	4	3	5	0
	署 長	1			1						
	副 署 長	1				1					
	管 理 室	1 (1)				1 (1)					
	第1警備隊	11				2	3	2	1	3	
	第2警備隊	11				1	4	2	2	2	

( )内は兼務

●消防吏員の年齢

階級 年齢	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	196	1	2	6	38	45	38	25	41
18歳～20歳	5								5
21歳～25歳	20								20
26歳～30歳	30							14	16
31歳～35歳	48					8	30	10	
36歳～40歳	27					19	8		
41歳～45歳	14					13		1	
46歳～50歳	12				9	3			
51歳～55歳	27		1	2	22	2			
56歳以上	13	1	1	4	7				

(平均年齢37.5歳)

●消防吏員の勤務年数

在職年数 区分	計	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上
職員	196	31	22	38	38	13	18	7	29

# 消 防 力

## ●消防吏員の資格免許取得状況

区 分		取得人員	区 分	取得人員
自動車運転免許	大型特殊	16	移動式クレーン	95
	大型二種	3	玉掛け技能	87
	大型一種	165	毒物取扱者	1
	普通二種	0	潜水士	5
	普通一種	191	小型船舶操縦士	31
	けん引	5	救急救命士	45
	自動二輪	104	救急Ⅱ課程修了者	98
整備	三級シャーシ整備士	2	救急標準課程修了者	53
特殊無線技士	1 級	10	電気工事士	3
	2 級	103	車両系建設機械運転技能者	8
	3 級	7	可搬消防ポンプ等整備資格者	7
アマチュア無線技士		21	足場組立作業主任者	7
危険物取扱者	甲 種	4	特定化学物質等作業主任者	2
	乙 種	54	ガス溶接講習修了	29
	丙 種	86	アーク溶接講習修了	10
消防設備士	甲 種	1	研削といし講習修了	1
	乙 種	75	第二種酸素欠乏危険作業主任者	21
予防技術資格者	防火査察専門員	5	介護福祉士	1
	消防設備等専門員	1	高圧ガス製造責任者（丙種化学）	11
	危険物専門員	3	第一種衛生管理者	1

## ●消防相互応援協定状況

協定先の市町村、機関、事業所等の名称	協定の内容	締結年月日	締結方法
島根県下市町村及び消防にかかる一部事務組合	相互応援協定 (大規模火災及び特殊災害)	昭和52年4月1日	文書
島根県内の市町村、消防の一部事務組合及び消防を含む一部事務組合	島根県防災ヘリコプター応援協定	平成6年3月28日	文書
島根県出雲空港管理事務所	出雲空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	平成17年3月22日	文書
島根県内消防本部	救急業務に関する相互応援協定	平成18年1月1日	文書
境海上保安部	境海上保安部と出雲市消防本部との消防業務協定	平成18年3月1日	文書
山陰自動車道及び松江自動車道消防相互応援協定	高速道における相互応援協定	平成18年11月25日	文書

## 広 報

## ●広報実施状況

平成19年中(2007)

区 分	実 施 回 数
有・無線放送による広報	169回
消防広報ひまわり発刊	2回(100,000枚)
市町広報誌による広報	3回
eメール配信による広報	16回
防火指導会	113回(7,896人)
防火映画会	25回(1,835人)
巡回広報	126回
署見学	56回(2,184人)
計	510回(11,915人)

# 出雲消防 音楽隊

## ●音楽隊の概況

【結成年月日】平成9年（1997）9月2日

### 【結成の目的】

平成10年自治体消防50周年の節目の年にあたり、新しい防災の拠点として最新鋭の機器を導入した消防庁舎の移転新築を機会としてとらえ、演奏によって消防広報を高め、住民と密着した防火防災意識の啓発を促し『消防職員の士気と情操をより高揚すること』を目的に結成しました。

### 【隊員編成】

隊長1名 副隊長1名 楽長1名 副楽長2名 隊員26名

### 【楽器編成】

ピッコロ	1	フレンチホルン	3	バスドラム	1
フルート	2	ユーフォニウム	2	コンサートバスドラム	1
B♭クラリネット	6	チューバ	1	シンバル	3
アルトサクソ	2	トロンボン	2	グロッケン	1
テナーサクソ	1	バストロンボン	1	ハーモニディレクター	
バリトンサクソ	1	スーザホン	2	その他 音響設備	
トランペット	5	スネアドラム	2		

### 【主な活動】平成19年(2007)中

- 消防出初式
- 日本丸歓迎セレモニー
- 出雲市出雲消防団消防操法大会開会式
- 2007夢フェスタinいずも
- 出雲全国そばまつり
- 21世紀出雲産業見本市2007
- 出雲市消防音楽隊10周年記念演奏会
- 出雲市役所前ツリー点灯式



21世紀出雲産業見本市 於：出雲ドーム

# 予 防 編



幼年消防クラブによる防火パレード



消火技術訓練大会



危険物施設立入り検査

## ●防火クラブの現況

	ク ラ ブ 名 称	所 在 地	結成年	人 員
幼 年 消 防 ク ラ ブ	平田保育所幼年消防クラブ	出雲市平田町	昭和56年	170
	たちばな保育園幼年消防クラブ	出雲市大津町	昭和59年	182
	出東保育園幼年消防クラブ	斐川町大字三分市	昭和59年	103
	西園保育園幼年消防クラブ	出雲市西園町	昭和59年	69
	ハマナス保育園幼年消防クラブ	出雲市湖陵町二部	昭和59年	103
	きんろう保育園幼年消防クラブ	出雲市大津新崎町	昭和59年	100
	莊原保育園幼年消防クラブ	斐川町大字上庄原	昭和59年	99
	出西保育園幼年消防クラブ	斐川町大字出西	昭和59年	102
	あすなろ保育園幼年消防クラブ	出雲市白枝町	昭和60年	197
	おやま保育園幼年消防クラブ	出雲市小山町	昭和60年	116
	神門保育園幼年消防クラブ	出雲市芦渡町	昭和60年	103
	中央保育所幼年消防クラブ	出雲市今市町	昭和60年	99
	なかの保育園幼年消防クラブ	出雲市中野町	昭和60年	134
	えんや保育園幼年消防クラブ	出雲市上塩冶町	昭和60年	84
	外園保育園幼年消防クラブ	出雲市外園町	昭和60年	51
	おおつか保育園幼年消防クラブ	出雲市大塚町	昭和60年	162
	浜山保育園幼年消防クラブ	出雲市浜町	昭和60年	103
	中部保育所幼年消防クラブ	出雲市東福町	昭和60年	103
	北部保育所幼年消防クラブ	出雲市坂浦町	昭和60年	34
	わにぶち保育所幼年消防クラブ	出雲市河下町	昭和60年	51
	さとがた保育園幼年消防クラブ	出雲市里方町	昭和61年	103
	出雲乳児保育所幼年消防クラブ	出雲市今市町	昭和61年	103
	大社保育所幼年消防クラブ	出雲市大社町杵築南	昭和61年	80
	こぐま保育園幼年消防クラブ	出雲市大社町北荒木	昭和61年	170
	みなみ保育所幼年消防クラブ	出雲市平田町	昭和61年	139
	平田幼稚園幼年消防クラブ	出雲市西平田町	昭和61年	152
	東幼稚園幼年消防クラブ	出雲市園町	昭和61年	89
	荒茅保育園幼年消防クラブ	出雲市荒茅町	平成3年	65
	多伎幼稚園幼年消防クラブ	出雲市多伎町小田	平成5年	45
	こどもランド幼年消防クラブ	出雲市大社町修理免	平成7年	42
	大社幼稚園幼年消防クラブ	出雲市大社町杵築南	平成7年	51
	光幼稚園幼年消防クラブ	出雲市灘分町	平成11年	104
	出雲すみれ保育園幼年消防クラブ	出雲市塩冶町	平成13年	31
	日御碕幼稚園幼年消防クラブ	出雲市大社町日御碕	平成13年	4
	なかよし保育園幼年消防クラブ	出雲市大社町遙堪	平成13年	15
	鵜鷺幼稚園幼年消防クラブ	出雲市大社町鷺浦	平成13年	2
	ひかり保育園幼年消防クラブ	出雲市塩冶町	平成16年	34
	浜山あおい保育園幼年消防クラブ	出雲市天神町	平成19年	95
計		38団体	3,489名	

	ク ラ ブ 名 称	所 在 地	結成年	人 員
少 年 消 防 ク ラ ブ	猪目少年消防クラブ	出雲市猪目町	昭和34年	3
	美保少年消防クラブ	出雲市塩津町	昭和35年	2
	上八幡少年消防クラブ	出雲市松寄下町	昭和50年	4
	塩津町少年消防クラブ	出雲市塩津町	昭和56年	7
	直江親子会少年消防クラブ	斐川町大字直江町	昭和58年	194
	天神団地少年消防クラブ	出雲市天神町	昭和63年	75
	西野小第1学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字富村	平成11年	66
	荘原小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字神庭	平成11年	40
	中部小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字直江町	平成11年	53
	出東小学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字三分市	平成13年	14
	朝倉少年防火クラブ	出雲市大津朝倉	平成18年	39
	西野小第2学童クラブ少年消防クラブ	斐川町大字富村	平成18年	17
計		12団体	514名	
	ク ラ ブ 名 称	所 在 地	結成年	人 員
女 性 防 火 ク ラ ブ	日御碕婦人消防隊	出雲市大社町日御碕	昭和34年	23
	塩津町女性消防隊	出雲市塩津町	昭和36年	10
	坂浦町女性消防隊	出雲市坂浦町	昭和44年	7
	三津町女性消防隊	出雲市三津町	昭和46年	10
	美保町女性消防隊	出雲市美保町	昭和56年	9
	斐川町商工会女性部婦人防火クラブ	斐川町大字荘原町	昭和58年	89
	釜浦町女性消防隊	出雲市釜浦町	昭和58年	9
	鷺峠婦人防火クラブ	出雲市大社町鷺峠	昭和61年	12
	JAいずも四絡女性部婦人防火クラブ	出雲市小山町	昭和63年	200
	小伊津町女性消防隊	出雲市小伊津町	平成元年	9
	西地合女性消防隊	出雲市地合町	平成5年	25
	東地合女性消防隊	出雲市地合町	平成7年	22
	天神団地女性防火クラブ	出雲市天神町	平成17年	90
計		13団体	515名	
合計		63団体	4,518名	

## ●防火対象物数

令別表項目別		市 町 別	総 数	出雲市	斐川町
合 計			6,411	5,435	976
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	6	6	
	ロ	公会堂・集会場	97	85	12
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブの類	2	2	
	ロ	遊技場・ダンスホール	23	21	2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	1	1	
3	イ	待合・料理店の類	33	32	1
	ロ	飲食店	176	153	23
4		百貨店・マーケット・物品販売店等	334	287	47
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	129	101	28
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	1,489	1,346	143
6	イ	病院・診療所・助産所	155	134	21
	ロ	老人・救護・児童等社会福祉施設	221	192	29
	ハ	幼稚園・盲・聾・養護学校	37	32	5
7		小・中・高等学校・大学・各種学校の類	223	204	19
8		図書館・博物館・美術館	25	22	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	0		
	ロ	イ以外の公衆浴場	4	4	
10		車両の停車場・船舶・航空機発着場	2	1	1
11		神社・寺院・教会の類	82	79	3
12	イ	工場・作業場	1,067	818	249
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1	1	
13	イ	自動車車庫・駐車場	84	68	16
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	2		2
14		倉庫	878	674	204
15		前各項に該当しない事業場	832	708	124
16	イ	令別表1~4、5イ、6、9イ、の用途に供する部分のある複合用途対象物	347	326	21
	ロ	イ以外の複合用途対象物	150	129	21
17		文化財・重要文化財	7	5	2
18		50メートル以上のアーケード	4	4	

●一般予防関係事務処理件数

平成19年度中

	消 防 用 設 備 等 着 工 届 出 書																			
	合 計	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難設備(器具)	避難設備(誘導灯)	消防用水	排煙設備	連結送水管設備	非常コンセント
計	280	13	7	1	0	0	5	4	1	91	4	16	27	17	16	73	2	1	2	0
出雲市	226	10	7	1	0	0	4	3	1	73	4	13	23	9	16	57	2	1	2	0
斐川町	54	3	0	0	0	0	1	1	0	18	0	3	4	8	0	16	0	0	0	0

平成19年度中

	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出 書																						
	合 計	消火器具	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	泡消火設備	二酸化炭素消火設備	ハロゲン化物消火設備	粉末消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	火災報知設備	非常警報器具	非常警報設備(ベル)	非常警報設備(放送)	避難設備(器具)	避難設備(誘導灯)	避難設備(標識)	消防用水	排煙設備	連結送水管設備	非常コンセント
計	474	90	20	7	0	0	0	5	0	1	172	3	18	1	13	33	20	74	11	1	0	4	1
出雲市	367	83	15	7	0	0	0	4	0	1	129	3	17	1	9	13	20	51	10	0	0	3	1
斐川町	107	7	5	0	0	0	0	1	0	0	43	0	1	0	4	20	0	23	1	1	0	1	0

平成19年度中

	そ の 他 届 出 書																		
	合 計	防火管理者選解任届	消防計画	消防設備等点検結果報告書	防火対象物使用開始届	消防計画に基づく 避難訓練の指導	圧縮アセチレンガス等 貯蔵届	変電・発電・蓄電池設置届	ボイラー等設置届	煙火打ち上げ届	水素ガス気球設置届	催しもの開催届	又は火災を発生する行為 火災とまぎらわしい煙	禁止行為の解除承認	少量危険物貯蔵・取扱届	少量危険物貯蔵・取扱廃止届	ネオン管灯設備設置届	指定可燃物貯蔵・取扱	毒劇物貯蔵・取扱い届
計	3,583	271	417	1,299	159	508	40	76	23	94	0	19	506	70	49	50	0	2	0
出雲市	3,089	248	381	1,103	145	422	37	57	13	85	0	19	425	69	37	47	0	1	0
斐川町	494	23	36	196	14	86	3	19	10	9	0	0	81	1	12	3	0	1	0

## ●中高層建物の状況

階数	用途別 4店 項舗	5項イ 旅館 ホテル	5項口 共同 住宅	6項イ 病 院	7項 学 校	12項イ 工 場	15項 その 他の 事業 所	16項 複 合 用 途	その他	計
3階	15	9	173	12	56	26	90	83	48	512
4階	1	8	109	3	23	5	24	22	8	203
5階		3	19	1	2		6	6	2	39
6階		1	9	1	2	2	3		1	19
7階		1	3	2			4	4		14
8~9階			5	1	1	3		1		11
10階以上		4	14	1						19
計	16	26	332	21	84	36	127	116	59	817

## ●危険物製造所等施設数

製造所等の別		市町別	合計	出雲市	斐川町
合計			793	665	128
製造所			4	4	
貯蔵所	小計		499	420	79
	屋内貯蔵所		73	60	13
	屋外タンク貯蔵所		104	93	11
	屋内タンク貯蔵所		9	7	2
	地下タンク貯蔵所		209	171	38
	簡易タンク貯蔵所		7	7	
	移動タンク貯蔵所		87	74	13
	屋外貯蔵所		10	8	2
取扱所	小計		290	241	49
	給油取扱所		171	142	29
	第一種販売取扱所		0		
	第二種販売取扱所		0		
	移送取扱所		9	9	
一般取扱所		110	90	20	
少量危険物貯蔵取扱所			1,826	1,459	367

●貯蔵取扱数量別危険物施設数

製造所等の別		最大数量が指定数量の	計	5 以 下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を超え 150倍以下	150倍を超え 200倍以下	200倍を超え 1000倍以下	1000倍を 超えるもの
合 計			793	368	146	153	49	23	27	27	0
製 造 所			4		2	2					
貯 蔵 所	小 計		499	286	95	87	22	2	1	6	0
	屋内貯蔵所		73	42	13	13	5				
	屋外タンク貯蔵所		104	25	31	42	5		1		
	屋内タンク貯蔵所		9	7	2						
	地下タンク貯蔵所		209	125	42	25	9	2		6	
	簡易タンク貯蔵所		7	7							
	移動タンク貯蔵所		87	77	2	5	3				
	屋 外 貯 蔵 所		10	3	5	2					
取 扱 所	小 計		290	82	49	64	27	21	26	21	0
	給油取扱所		171	19	22	41	23	19	26	21	
	第一種販売取扱所		0								
	第二種販売取扱所		0								
	移送取扱所		9	4	4	1					
	一 般 取 扱 所		110	59	23	22	4	2			

●危険物関係事務処理件数

平成19年度中

区 分		市 町 別	合 計	出 雲 市	斐 川 町
許 可	設 置		17	13	4
	変 更		38	22	16
	常置場所の 変 更	他許可行政庁に転出	1	1	
		他許可行政庁から転入	2	2	
完 成 検 査	設 置		24	20	4
	変 更		37	22	15
	他許可行政庁から転入		2	2	
廃 止 届			15	14	1
	完成検査前に設置許可の取り消し処分		0		
完成検査前検査(タンク検査)			5	5	
休 止 届			1	1	
変 更 届			31	27	4
譲 渡 引 渡 届			9	9	
仮 使 用 承 認			27	14	13
仮 貯 蔵 承 認			1	1	
仮 取 扱 承 認			2		2
保 安 監 督 者 選 解 任 届			31	26	5

## ●火薬類・高圧ガス・液化石油ガス関係事務処理件数

### 1. 火薬類取締法関係

平成19年度中

	区 分	件 数		計
		出雲市	斐川町	
許 可	譲 渡 許 可	5	2	7
	譲 受 許 可	0	0	0
	譲 受 ・ 消 費 許 可	29	2	31
	消 費 許 可 ( 煙 火 )	24	2	26
	消 費 許 可			0
	廃 棄 許 可			0
	計	58	6	64

### 2. 高圧ガス保安法関係

平成19年度中

	区 分	件 数		計	
		出雲市	斐川町		
許 可 ・ 完 成 ・ 保 安 検 査	製 造 ( 変 更 ) 許 可	3	3	7	
	貯 蔵 所 設 置 ( 変 更 ) 許 可	1			
	充てん設備(変更)許可			10	
	製造施設完成・保安検査	7	3		
	貯 蔵 所 完 成 検 査	1			5
	充てん設備完成・保安検査	4			
新 規 ・ 変 更 等 届	高圧ガス製造事業(軽微変更・変更)届	13	5	31	
	高圧ガス貯蔵所設置(軽微変更・変更)届				
	特定高圧ガス消費(変更)届		2		
	危 害 予 防 ( 変 更 ) 届	3			
	高圧ガス販売事業(ガス種変更)届	2			
	高圧ガス製造販売貯蔵消費承継届	1			
	高圧ガス製造販売貯蔵消費(休止)廃止届	5			
	事 故 届				
充てん設備軽微変更届(液石法)					
計	40	13	53		

### 3. 液化石油ガス法関係

平成19年度中

処 理 内 容	件 数		計
	出雲市	斐川町	
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届	6	3	9

# 警防編



航空機火災消火救難訓練（出雲空港）

# 火災統計

## ●火災の概要

区分 月別	火災件数(件)							焼損棟数(棟)				焼損面積(m <sup>2</sup> )(a)		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積	林野
H15年(2003)	80	47	0	12	0	0	21	87	33	5	29	20	5,092	3
H16年(2004)	82	44	8	4	0	0	26	66	24	3	16	23	3,597	64
H17年(2005)	64	30	5	6	0	0	23	40	13	3	14	10	1,876	43
H18年(2006)	59	32	2	5	0	0	20	43	14	2	10	17	2,085	5
H19年(2007)	71	42	4	3	0	0	22	67	25	5	20	17	4,739	97
1月	8	6	1				1	8	2		4	2	312	
2月	3	1					2	2			2		2	
3月	13	8	2	1			2	9	5		2	2	1,314	93
4月	6	2					4	4	2	1		1	538	
5月	9	2	1				6	2				2	1	1
6月	4	3		1				4	1	1	1	1	359	
7月	5	5						9	3	1	1	4	326	
8月	6	5					1	11	5	1	4	1	826	3
9月	5	4					1	9	2	1	4	2	354	
10月	8	3		1			4	5	3		1	1	494	
11月	2	2						2			1	1	30	
12月	2	1					1	2	2				183	
出雲市	56	32	4	2	0	0	18	53	18	4	17	14	3,573	97
斐川町	15	10		1			4	14	7	1	3	3	1,166	

平成19年(2007)中

死傷者(人)		り災世帯(世帯)				り 災 人 員	損 害 額(千円)									
死 者	負 傷 者	計	全 損	半 損	小 損		合 計	建 物			林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	爆 発
								小 計	建 築 物	収 容 物						
3	15	53	17	7	29	144	389,684	380,431	275,946	104,485	0	8,208	0	0	1,045	0
2	19	43	14	3	26	107	181,015	176,841	136,011	40,830	0	2,370	0	0	1,804	0
3	6	20	8	2	10	62	99,192	98,339	78,741	19,598	0	773	0	0	80	0
7	5	24	8	2	14	78	125,752	123,885	94,241	29,644	0	1,704	0	0	163	0
3	16	48	17	2	29	138	427,562	426,242	334,018	92,224	62	399	0	0	857	2
	6	5	2		3	19	18,605	18,334	13,264	5,070					271	
		2			2	6	412	75	75			50			287	
	2	7	1		6	19	209,355	209,315	166,002	43,313	30				10	
	1	2	1	1		7	38,747	38,647	24,851	13,796		100				
	1	2			2	3	104	84	60	24					20	
1		2	1		1	2	7,332	7,204	5,219	1,985		128				
	1	5	2		3	20	38,343	38,343	35,251	3,092						
	1	11	5	1	5	30	48,635	48,603	40,110	8,493	32					
1	4	8	3		5	19	19,271	19,253	16,320	2,933					16	2
		2	1		1	6	39,305	39,051	28,599	10,452		1			253	
		1			1	2	1,383	1,383	217	1,166						
1		1	1			5	6,070	5,950	4,050	1,900		120				
3	16	39	13	2	24	107	380,084	379,222	299,856	79,366	62	228			570	2
		9	4		5	31	47,478	47,020	34,162	12,858		171			287	

●消防本部・本署・各署の出場状況

平成19年(2007)中

	回数人員	本部・本署	西部分署	南部分署	斐川出張所	平田消防署	大社消防署	計
火 災	出場回数	16 (53)	5 (10)	2 (4)	13 (32)	15 (30)	10 (19)	61 (148)
	人 員	488	50	15	182	125	112	972
救 急	出場回数	2,220 (2,371)	354 (400)	182 (186)	648 (676)	759 (833)	640 (685)	4,803 (5,151)
	人 員	7,535	1,240	575	2,000	2,647	2,127	16,124
救 助	出場回数	35 (53)	3 (4)	0 0	12 (21)	10 (18)	9 (10)	69 (106)
	人 員	367	6	0	66	70	39	548
風 水 害	出場回数	3	2	0	0	0	0	5
	人 員	11	6	0	0	0	0	17
演 習 ・ 訓 練	出場回数	641	189	101	253	209	109	1,502
	人 員	2,810	787	428	1,245	1,074	453	6,797
広 報 指 導	出場回数	141	25	20	76	118	55	435
	人 員	406	103	61	294	210	133	1,207
警 防 調 査	出場回数	185	155	154	136	172	147	949
	人 員	527	621	491	662	537	499	3,337
原 因 調 査	出場回数	21	6	2	15	16	11	71
	人 員	84	26	9	88	76	40	323
特 別 警 戒	出場回数	29	15	12	9	14	30	109
	人 員	58	42	12	26	41	92	271
遭 難	出場回数	1	0	0	0	1	0	2
	人 員	7	0	0	0	22	0	29
予 防 査 察	出場回数	49	28	25	64	55	46	267
	人 員	154	113	75	239	153	140	874
そ の 他	出場回数	477	31	54	45	36	178	821
	人 員	1,624	133	139	164	138	547	2,745
誤 報 いたす	出場回数	4	2	0	4	1	1	12
	人 員	62	10	0	15	7	5	99
計	出場回数	3,822	807	552	1,275	1,406	1,236	9,098
	人 員	14,133	3,109	1,805	4,981	5,100	4,187	33,315

※火災・救急・救助欄の( )は、各署所が管轄区域外に出場した場合の件数を含む。

●建物用途別損害状況 平成19年(2007)中

区分 用途別	出火 件数	焼 損 棟 数	り 災 世 帯	り 災 人 員	床 面 積 ( $m^2$ )	建 物 焼 損	損 害 額 (千円)
住 宅	22	39	31	91	2,481		150,507
共 同 住 宅	2	6	9	27	330		30,560
併用住宅	1	1	1	3			101
工 場	4	4			309		5,995
事 務 所	3	3			30		1,400
飲 食 店 舗	3	3			5		99
店 舗	2	2			182		21,417
作 業 場	1	1					174
納 屋	1	3	2	7	538		38,622
養 畜 舎	1	1			200		123
病 院	1	1	1	3			5
遊 技 場	1	1	3	3	629		177,126
計	42	65	47	134	4,704		426,129

●出火原因別火災件数・損害額 平成19年(2007)中

区分 用途別	出火 件数	出雲市	斐川町	損 害 額 (千円)
た き 火	10	9	1	163
こ ん ろ	9	6	3	48,892
放 火	4	3	1	141
火 入 れ	4	2	2	250
電 気 機 器	2	1	1	32,122
配 線 器 具	2	2		1
火 遊 び	2	2		0
た ば こ	1		1	174
焼 却 炉	1	1		0
ス ト ー プ	1	1		18,314
煙 道 ・ 煙 突	1		1	12,927
電 気 装 置	1	1		334
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1	1		31
衝 突 の 火 花	1	1		128
取 灰	1	1		70
放 火 の 疑 い	1	1		177,126
そ の 他	12	11	1	381
不 明	17	13	4	136,508
計	71	56	15	427,562

●曜日・時間別火災発生状況

平成19年(2007)中

曜日 時 間	日	月	火	水	木	金	土	日時分不明	合計
0 ~ 2		1							1
2 ~ 4		1		1	2	1			5
4 ~ 6					1		1		2
6 ~ 8	1								1
8 ~ 10		1	3		1				5
10 ~ 12	3	1	2	4	1		1		12
12 ~ 14	3	1	1		1	1	2		9
14 ~ 16	1		2	1	2				6
16 ~ 18	1		2	2	2	4	3		14
18 ~ 20	2			1		1	3		7
20 ~ 22	3	1	1			1	1		7
22 ~ 24	1								1
時 分 不 明		1							1
日 時 分 不 明									0
計	15	7	11	9	10	8	11	0	71

# 救急統計

## ●救急の概要

月別 区分	出場件数	搬送人員	救 急			
			火 災	自然災害	水 難	交 通
H15年(2003)	4,673	4,582	12		8	757
H16年(2004)	4,695	4,501	14		6	729
H17年(2005)	4,868	4,752	4		13	745
H18年(2006)	4,865	4,650	7		8	686
H19年(2007)	5,151	4,909	13		7	713
1 月	424	410	3			55
2 月	389	366				51
3 月	475	452	3			63
4 月	390	379				50
5 月	371	354				47
6 月	411	385	1		1	64
7 月	431	414	1		1	73
8 月	514	485			5	75
9 月	414	394	4			62
10 月	449	434				63
11 月	416	388				44
12 月	467	448	1			66
出雲市	4,378	4,150	12		7	573
斐川町	768	756	1			139
管 外	5	3				1

平成19年(2007)中

事 故 種 別 (件数)							出場件数 一日平均	搬送人員 一日平均
労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他		
75	62	526	18	76	2,725	414	12.80	12.55
65	73	540	27	64	2,717	460	12.86	12.33
61	69	568	13	66	2,879	450	13.34	13.02
37	58	587	26	107	2,967	382	13.33	12.74
54	58	598	16	93	3,190	409	14.11	13.45
2	1	46	1	11	266	39	13.68	13.23
2	1	50		11	246	28	13.89	13.07
10	7	52		3	293	44	15.32	14.58
4	3	48	2	7	254	22	13.00	12.63
4	6	41	4	10	239	20	11.97	11.42
7	10	48		7	241	32	13.70	12.83
2	7	49	2	7	257	32	13.90	13.35
5	7	56	4	9	312	41	16.58	15.65
3	11	49	1	5	246	33	13.80	13.13
6	4	60		5	275	36	14.48	14.00
4	1	44	1	8	278	36	13.87	12.93
5		55	1	10	283	46	15.06	14.45
43	52	508	14	87	2,750	332	11.96	11.34
11	6	90	2	6	440	73	2.10	2.07
						4	0.01	0.01

●傷病者年齢区分別搬送人員

平成19年(2007)中

年齢区分	事故種別												計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
新生児 (生後28日以内)											1	3	4
乳幼児 (生後29日以上満7歳未満)	2			42			35	1		132	6	218	
少年 (満7歳以上満18歳未満)			2	75		34	35	1	4	83	3	237	
成人 (満18歳以上満65歳未満)	7		2	503	49	25	155	11	50	927	90	1,819	
老人 (満65歳以上)	3			177	4		338	1	10	1,865	233	2,631	
計	12	0	4	797	53	59	563	14	64	3,008	335	4,909	

●傷病程度別搬送人員

平成19年(2007)中

疾病程度	事故種別												計	比率(%)
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
死亡				6		9	2	13	90	4	124	2.5%		
重症	1		2	29	2	31		10	313	72	460	9.4%		
中等症	4		1	161	26	18	253	3	25	1,237	200	1,928	39.3%	
軽症	7		1	601	25	41	270	9	16	1,368	59	2,397	48.8%	
その他												0	0.0%	
計	12	0	4	797	53	59	563	14	64	3,008	335	4,909	100.0	

●救急隊員の行った応急処置件数

平成19年(2007)中

事故種別 応急処置	合計	急病	交通	一般負傷	その他
応急措置対象人員	4,858	2,996	771	558	533
止血	72	10	12	44	6
固定	1,034	76	638	231	89
人工呼吸	132	99	4	15	14
心臓マッサージ	0				
※うち自動	0				
心肺蘇生	196	149	10	14	23
※うち自動	4	2			2
酸素吸入	2,229	1,701	141	121	266
気道確保	449	355	17	33	44
※経鼻エアウェイ	99	79	2	8	10
※喉頭鏡・鉗子等	73	46	5	15	7
※コンピチューブ	130	105	5	8	12
保温	143	72	29	24	18
被覆	312	20	118	134	40
在宅療法継続	23	22		1	
※①化学療法の点滴	1	1			
※②人工肛門等の外瘻	6	6			
※①②以外の措置	16	15		1	
ショックパンツ	1	1			
除細動	16	14			2
静脈路確保	144	114	6	10	14
その他の応急措置	2,031	1,631	65	123	212
血圧測定	4,383	2,727	677	497	482
聴診器による聴取	1,799	1,227	285	131	156
血中酸素飽和度測定	4,598	2,844	735	526	493
心電図	2,538	2,053	95	135	255
※うち伝送	0				
気管挿管	6	6			
薬剤投与	64	48	2	8	6
合計	20,170	13,169	2,834	2,047	2,120

○※印欄(うち数)は合計に計上しない。

○一人に複数の応急措置を実施することがある為、合計と応急処置対人数とは一致しない。

## ●救急隊員生涯教育実施状況（ワークステーション）

平成19年(2007)中

年 別	件数等	年間実施週数	研修隊員総数	出場件数	うち医師同乗件数	※研修期間
平成16年以前		99	270	385	160	5日間（休日を 除く月曜日から 金曜日） 午前8時30分～ 午後5時15分
平成17年		37	50	157	46	
平成18年		27	71	44	44	
平成19年		27	81	99	98	
計		190	472	685	348	

(注) 救急隊員生涯教育は、出雲地区救急業務連絡協議会構成4消防本部から3名の救急隊員を救急指定病院に派遣し、救急隊員の生涯教育を実施するとともに、重症度の高い救急事案については医師同乗のうえ現場出場することにより、救急隊員のレベルアップと、プレホスピタルケア（病院前）からホスピタルケア（病院）への連続性のある医療の充実を目指し、救命率の向上を図ることを目的として行っています。

## ●応急手当普及啓発活動状況

(1) 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

平成19年(2007)中

年 別	区 分	普通救命講習		上級救命講習		応急手当普及員		その他の講習		計	
		回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
平成16年以前		633	14,439	29	646	11	223	976	43,551	1,649	58,859
平成17年		79	1,695	4	95			146	4,675	229	6,465
平成18年		152	3,522	6	138	2	49	133	4,061	293	7,770
平成19年		119	2,265	2	47	3	82	198	6,168	322	8,562
計		983	21,921	41	926	16	354	1,453	58,455	2,493	81,656

(2) 応急手当指導員講習修了者

平成19年(2007)中

年別	区分	講習Ⅰ修了者	講習Ⅱ修了者	講習Ⅲ修了者	計
平成16年以前		176			176
平成17年		12			12
平成18年		4			4
平成19年		7			7
計		199	0	0	199

(注) 講習Ⅰ：救急救命士又は救急隊員、消防機関在職中に救急隊員の資格を有していたもので8時間の講習を修了したもの。

(注) 講習Ⅱ：上記以外の消防職員（応急手当の普及業務に関し、消防職員と同等以上の知識及び技能を有すると署長が認めたもの）又は消防職員であった者で、24時間の講習を修了したもの。

(注) 講習Ⅲ：応急手当普及員の資格を有する者で、16時間の講習を修了したもの。

# 救助統計

## ●救助の概要

件数・種別等		年別	H15年 (2003)	H16年 (2004)	H17年 (2005)	H18年 (2006)	H19年 (2007)
		出場件数	132	140	173	160	124
活動件数	43	52	59	65	39		
救助人員	53	52	69	216	38		
災害種別 (件数)	火災	42	46	31	36	41	
	交通事故	63	57	88	71	58	
	水難事故	1	6	10	12	5	
	風水害等自然災害	1			8		
	機械による事故	4	2	4		1	
	建物等による事故	2	1	1	3	2	
	ガス及び酸欠事故	1					
	爆発事故						
	その他の事故	18	28	39	30	17	

交通事故救助活動



低所救出訓練

# 消防機械 器具の現況

## ●消防車両の配備

車種	所 属	計	消防本部 （本署） 出雲消防署	西部分署	南部分署	斐川出張所	平田消防署	大社消防署
計		60	25	3	4	5	12	11
消 防 ポ ン プ 自 動 車		8	2	1	1		2	2
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		6	2			1	1	2
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	1					
は し ご 自 動 車		1	1					
救 助 工 作 車		4	1			1	1	1
小 型 ポ ン プ 積 載 車		4		1	1	1		1
緊 急 消 防 自 動 二 輪 車		3	3					
高 規 格 救 急 車		11	3	1	1	2	2	2
救 急 自 動 車		2	1		1			
指 令 車		5	2				1	2
広 報 車 ・ 査 察 車		6	3				2	1
水 防 防 災 車		2	1				1	
マ イ ク ロ バ ス		1	1					
消 火 ・ 通 報 訓 練 指 導 車		1					1	
そ の 他 の 車 両		5	4				1	

●特殊器具一覧表

機 器 区 分		数量	機 器 区 分		数量
救 助	か ぎ 付 梯 子	13	隊 員 保 護 器 具	空 気 呼 吸 器 ( 8 型 )	72
	二 連 梯 子	12		酸 素 呼 吸 器 ( 1 0 型 )	10
	三 連 梯 子	9		簡 易 呼 吸 器	3
	折 り た た み 梯 子	5		防 毒 マ ス ク	25
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	5		耐 電 衣	10
	救 命 索 発 射 銃	10		耐 電 ズ ボ ン	10
	緩 降 機	4		耐 電 手 袋	25
	マ ッ ト 式 空 気 ジ ャ ッ キ	11		耐 電 長 靴	10
	油 圧 電 動 ポ ン プ	1		耐 熱 服	7
	油 圧 エ ン ジ ン ポ ン プ	3		陽 圧 式 化 学 防 護 服	3
	油 圧 フ ー ト ポ ン プ	5		携 帯 警 報 機	10
	油 圧 ハ ン ド ポ ン プ	2		防 塵 マ ス ク	165
助 用	油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	4	消 火 器 具	防 塵 メ ガ ネ	163
	油 圧 カ ッ タ ー	4		高 ・ 低 発 泡 器	9
	油 圧 ペ ダ ル カ ッ タ ー	3		ピ ッ ク ア ッ プ 式 泡 ノ ズ ル	10
	油 圧 プ ラ ン ジ ャ ー ラ ム	4		ジ ェ ッ ト シ ュ ー タ ー	74
	油 圧 コ ン ビ ツ ー ル	5		林 野 火 災 用 マ ル チ ジ ョ イ ン ト	5
	ス パ カ ッ タ ー	5		小 型 動 力 ポ ン プ	11
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	9		組 み 立 て 式 水 槽	7
	電 動 カ ッ タ ー	1		可 搬 式 放 水 銃	2
	ガ ス 溶 断 器	4		複 合 ガ ス 測 定 器	10
	電 気 溶 接 機	0		可 燃 性 ガ ス 測 定 器	1
	空 気 鋸	5		酸 素 濃 度 測 定 器	0
	器 具	チ ェ ン ソ ー		17	測 定 器
ハ ン マ ー ド リ ル		2	放 射 線 測 定 器	1	
可 搬 ウ イ ン チ		9	酸 素 吸 入 器	31	
チ ェ ン バ ー ホ イ ス ト		1	電 池 式 吸 引 機	28	
発 動 発 電 機		21	ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	26	
削 岩 機		4	防 振 ス ト レ ッ チ ャ ー	12	
バ ス ッ ケ ッ ト 型 担 架		6	喉 頭 鏡 鉗 子 セ ッ ト	32	
送 排 風 機		2	耐 振 動 血 圧 計	24	
救 助 用 三 脚		4	患 者 監 視 モ ニ タ ー	22	
ス ト ラ イ カ ー		5	自 動 人 工 呼 吸 器	20	
山 岳 救 助 用 ウ イ ン チ		1	除 細 動 器	28	
マ ン ホ ー ル 救 助 器 具		3	救 急 器 具	自 動 心 臓 マ ッ サ ー ジ 器	
救 助 用 工 具 セ ッ ト	6	シ ョ ッ ク パ ン ツ		31	
簡 易 画 像 探 索 機	1	K E D ( 救 出 器 具 )		26	
水 難 救 助 器 具	救 命 胴 衣	150		心 電 図 伝 送 装 置	22
	救 命 浮 環	40		バ ッ ク ボ ー ド	34
	救 命 ボ ー ト	7		携 帯 心 電 計	22
	船 外 機	3		在 宅 医 療 処 置 用 セ ッ ト	7
	水 中 投 光 器	3		多 目 的 副 子	25

## ●消防車両の装備

【消防本部・出雲消防署】(本署)

区分 車両名	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
1号車(ポンプ車)	いすゞ	KC-NKR71GN (H10年式)	130PS 2,282ℓ/min	いずも 1
2号車(ポンプ車)	いすゞ	U-NKR66N改 (H7年式)	130PS 2,110ℓ/min	いずも 2
3号車(タンク車)	日野	BDG-GD7JGWA改 (H20年式)	220PS 2,293ℓ/min	いずも 3
4号車(タンク車)	日産	KK-LK26A改 (H15年式)	225PS 2,160ℓ/min	いずも 4
化学車	三菱ふそう	U-FM618H改 化Ⅲ型(H5年式)	210PS 2,600ℓ/min	いずもかがく
梯子車	三菱ふそう	KC-FU519NY改 35ℓ(H11年式)	355PS	いずもはしご
救助工作1号車	日野	KK-CX1JGDA改 (H12年式)	220PS (4WD)	いずもこうさく1
救急1号車(高規格救急車)	トヨタ	GE-VCH32S (H12年式)	180PS	いずもきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)	トヨタ	CBF-TRH226S (H18年式)	150PS	いずもきゅうきゅう2
救急3号車	トヨタ	T-RZH132S (H元年式)	100PS	いずもきゅうきゅう3
救急5号車(高規格救急車)	日産	KC-APR71LV改 (H8年式)	140PS	いずもきゅうきゅう5
指令1号車	トヨタ	TC-VCH28S (H16年式)	180PS (4WD)	いずもしれい1
指令2号車	三菱	E-C12W改 (H3年式)	85PS	いずもしれい2
緊急消防自動二輪車(赤バイ3台)	ヤマハ	BA-DGO8J (H13年式)	20PS	
広報1号車	トヨタ	T-RZH112V改 (H2年式)	92PS	いずもこうほう1
広報2号車	トヨタ	GK-KR52V (H17年式)	82PS	
総務1号車	日産	GF-HC35 (H14年式)	155PS	いずもそうむ1
総務2号車	スバル	V-KW3 (H10年式)	42PS	
査察2号車	トヨタ	DAA-NHW20 (H16年式)	エンジン76PS モーター68PS	
防災1号車	日野	KK-RX4JFEA (H13年式)	175PS	いずもぼうさい1
防災2号車	日産	KC-P8F23改 (H7年式)	85PS (4WD)	いずもぼうさい2
警防2号車	三菱	E-CB2W (H7年式)	91PS	

【出雲消防署】(西部分署)

区分 車両名	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
消防車(ポンプ車)	三菱	KC-FG538C改 (H7年式)	130PS 2,110ℓ/min(4WD)	せいぶ 1
救急車(高規格救急車)	トヨタ	TC-VCH32S (H15年式)	180PS (4WD)	せいぶきゅうきゅう
小型動力ポンプ積載車	日産	KG-SK22MN (H15年式)	79PS (4WD)	せいぶ 2

【出雲消防署】(南部分署)

区分 車両名	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
消防車(ポンプ車)	三菱	KK-FG53ED (H12年式)	155PS 2,230ℓ/min(4WD)	なんぶ 1
救急車(高規格救急車)	日産	TC-FPWGE50改 (H16年式)	240PS (4WD)	なんぶきゅうきゅう
救急4号車	トヨタ	KC-KZH138S (H8年式)	130PS (4WD)	いずもきゅうきゅう4
小型動力ポンプ積載車	スズキ	V-DF51V改 (H8年式)	42PS (4WD)	なんぶ 2

【出雲消防署】(斐川出張所)

区分 車両名	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
消防車(タンク車)	いすゞ	KC-FRR33D4V改 (H10年式)	210PS 3,016ℓ/min	ひかわ 1
救急1号車(高規格救急車)	トヨタ	TC-VCH32S (H14年式)	180PS	ひかわきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)	トヨタ	CBF-TRH226S (H18年式)	150PS	ひかわきゅうきゅう2
救助工作車	三菱ふそう	P-FK416FZ改 II型(S60年式)	175PS	いずもこうさく2
小型動力ポンプ積載車	日産	KG-SK22MN (H11年式)	79PS (4WD)	ひかわ 2

## 【平田消防署】

区分 車両名	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
1号車(ポンプ車)	三菱	KC-FG538D (H10年式)	140PS 2,170 <sup>リットル</sup> /min	ひらた1
2号車(ポンプ車)	日産	T-FGY60改 (H2年式)	160PS 2,906 <sup>リットル</sup> /min	ひらた2
4号車(タンク車)	日産	KK-LK262EH改 (H13年式)	225PS 2,419 <sup>リットル</sup> /min	ひらた4
救助工作車	日野	U-GD3HGAA改 (H4年式)	205PS	ひらたこうさく
救急1号車(高規格救急車)	トヨタ	GB-VCH38S (H10年式)	180PS	ひらたきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)	トヨタ	TC-VCH38S (H17年式)	180PS	ひらたきゅうきゅう2
指令車	マツダ	GF-GW8W (H11年式)	120PS	ひらたしれい
広報1号車	トヨタ	T-RZH112V改 (H4年式)	110PS	ひらたこうほう1
広報2号車	トヨタ	E-ST190 (H5年式)	125PS	ひらたこうほう2
防災1号車	スズキ	E-JA22W (H10年式)	64PS	ひらたぼうさい1
防災2号車	三菱	KK-FE52CE (H12年式)	125PS	ひらたぼうさい2
消火・通報訓練指導車	マツダ	TC-SYE4T (H16年式)	100PS	
自動二輪車	ヤマハ	2JL (H11年式)	16PS	

## 【大社消防署】

区分 車両名	メーカー名	型式 (年式)	馬力及び 放水能力	無線局呼出名称
1号車(ポンプ車)	三菱ふそう	KC-FE538B改 (H9年式)	140PS 2,370 <sup>リットル</sup> /min	たいしゃ1
2号車(ポンプ車)	三菱ふそう	U-FG337C改 (H5年式)	115PS 2,130 <sup>リットル</sup> /min(4WD)	たいしゃ2
3号車(タンク車)	三菱ふそう	U-FK681EW改 (H7年式)	210PS 2,620 <sup>リットル</sup> /min	たいしゃ3
4号車(タンク車)	日産	KK-MK252BH (H11年式)	206PS 3,010 <sup>リットル</sup> /min	たいしゃ4
救助工作車	三菱ふそう	KK-FK61HGX (H12年式)	165PS	たいしゃこうさく
救急1号車(高規格救急車)	いすゞ	KC-NPR71LV改 (H8年式)	140PS	たいしゃきゅうきゅう1
救急2号車(高規格救急車)	日産	GE-FLWGE50 (H13年式)	170PS (4WD)	たいしゃきゅうきゅう2
指令1号車	トヨタ	T-RZH133S (H4年式)	120PS	たいしゃしれい1
指令2号車	日産	GF-LR50 (H13年式)	170PS	たいしゃしれい2
積載車	ダイハツ	LE-S330W (H18年式)	45PS	たいしゃせきさい
広報車	日産	CBE-VY11 (H17年式)	90PS	たいしゃこうほう

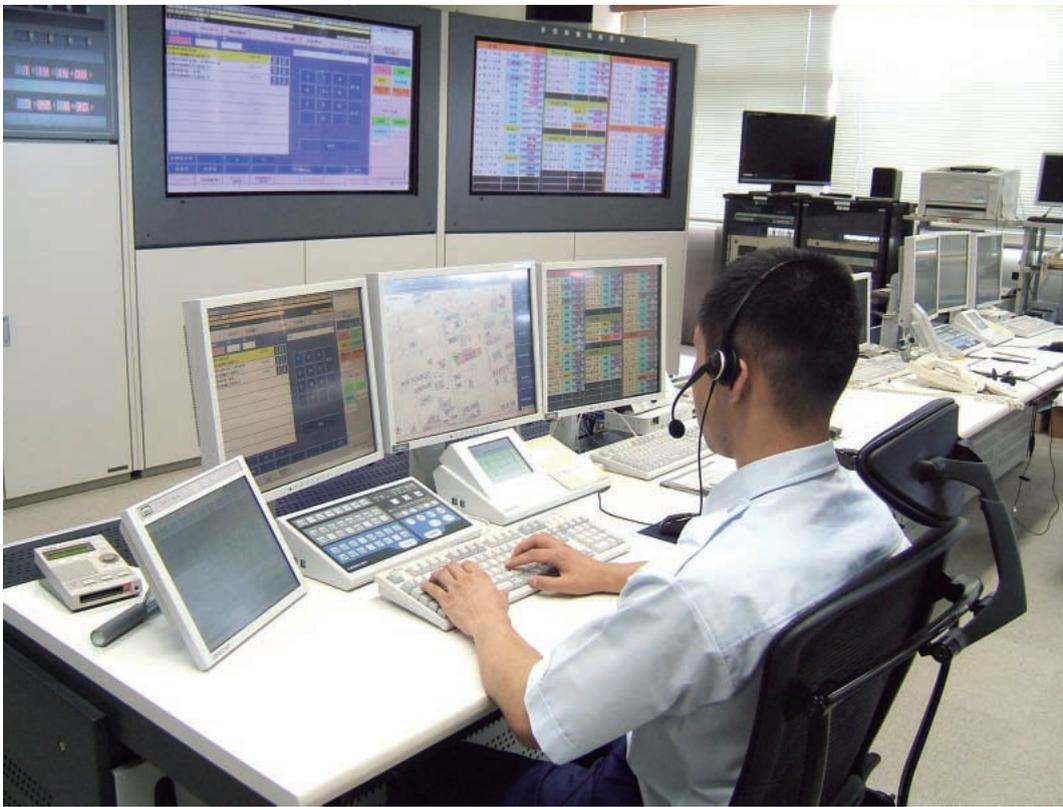
# 管内消防 水利の状況

## ●消防水利施設数

区分		市町別・地域別		出雲市					斐川町		
		総計	計	出雲	佐田	多伎	湖陵	平田		大社	
計		3,520	2,879	1,253	159	176	168	645	478	641	
消 火 栓	φ 200 以上	305	202	149		5	7	18	23	103	
	φ 150以上φ 200未満	504	355	198	4	16	10	68	59	149	
	φ 100以上φ 150未満	882	706	437	12	15	29	93	120	176	
	φ 75以上φ 100未満	631	487	104	49	69	15	118	132	144	
	φ 75 未 満	79	65	1	1	18	17	17	11	14	
	計	2,401	1,815	889	66	123	78	314	345	586	
防 火 槽	公 設	40 m <sup>3</sup> 以上	446	411	163	36	39	73	50	50	35
		20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	377	362	5	53	9	9	233	53	15
		20 m <sup>3</sup> 未 満	52	52		1	2		30	19	
	計	875	825	168	90	50	82	313	122	50	
私 設	40 m <sup>3</sup> 以上	38	38	29				3	6		
	20m <sup>3</sup> 以上40m <sup>3</sup> 未満	104	104	96		1	4	2	1		
	20 m <sup>3</sup> 未 満	53	53	50			2	1			
計	195	195	175	0	1	6	6	7	0		
プ ー ル		49	44	21	3	2	2	12	4	5	

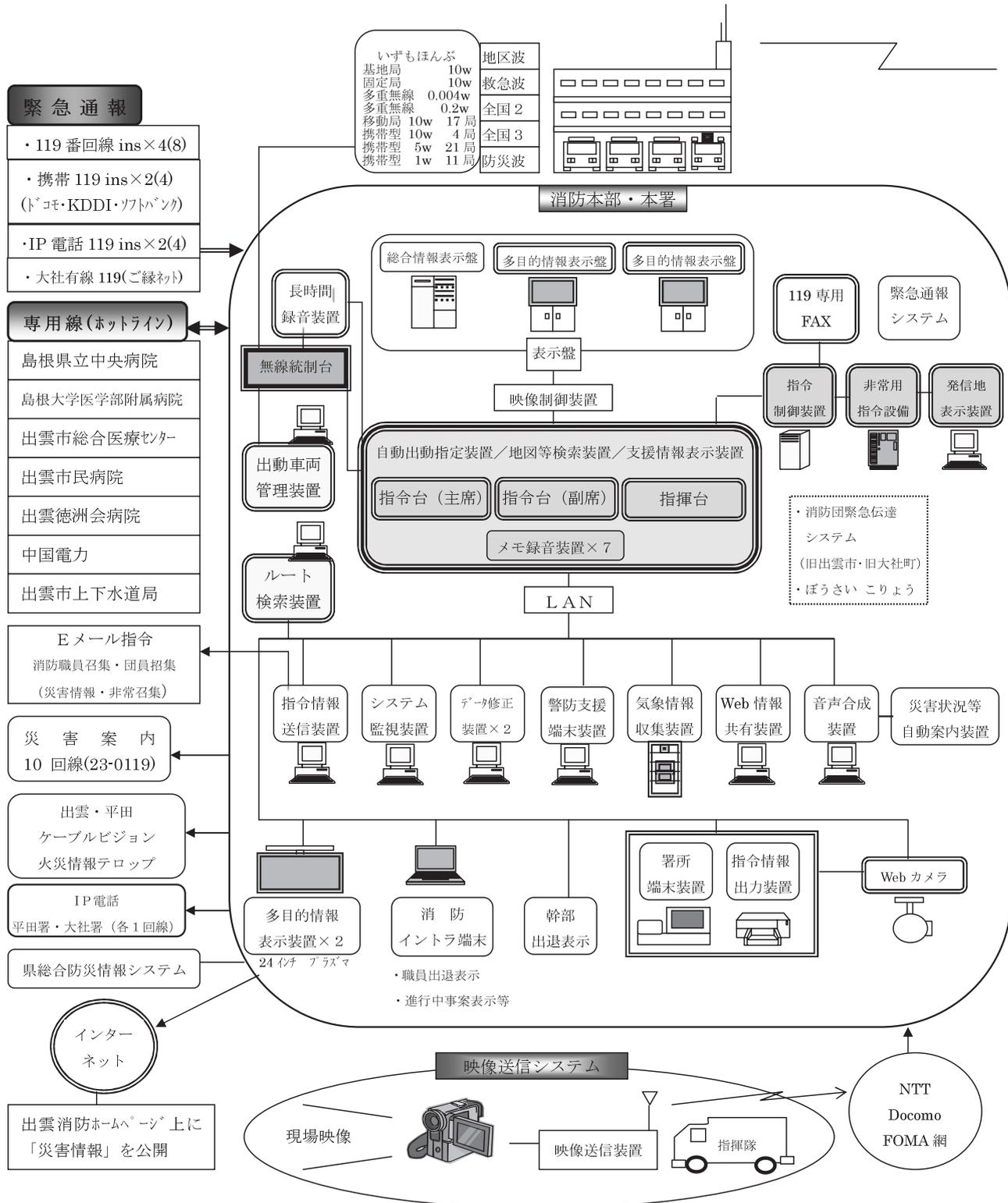


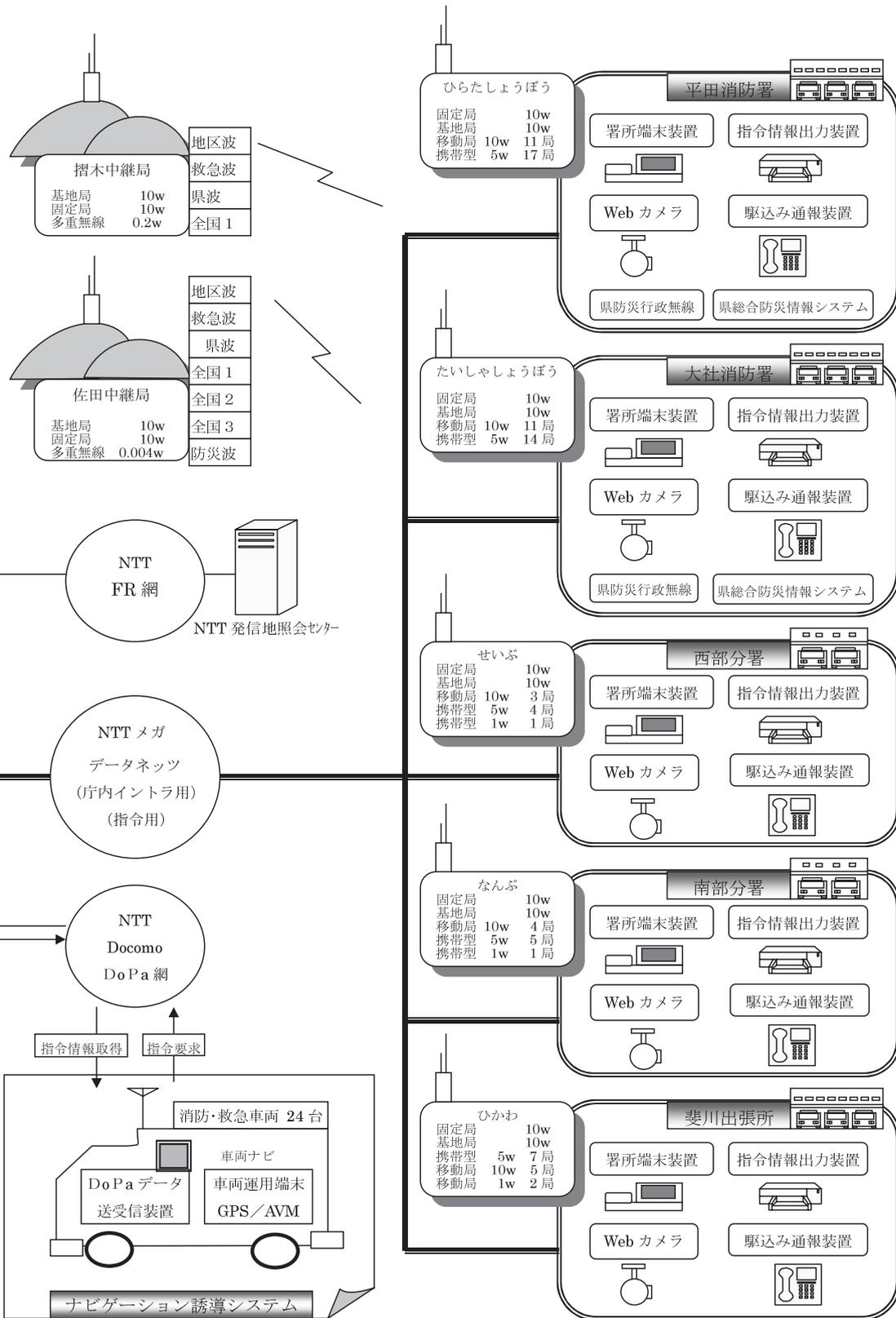
# 指令編



# 消防通信

## ●消防通信施設状況





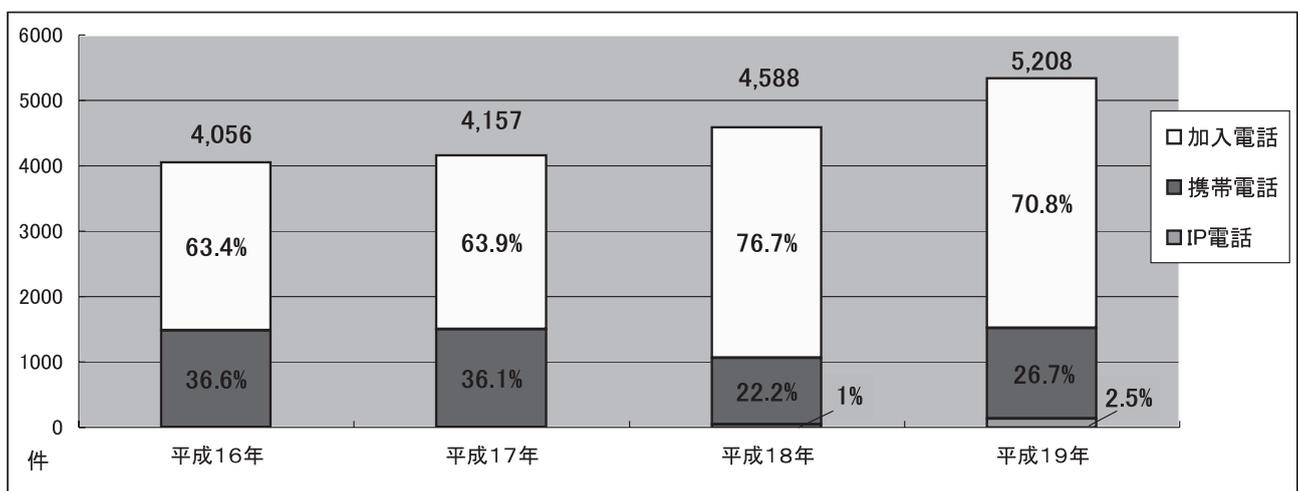
## ●火災報知専用電話（119番）等 覚知別

平成19年(2007)中

着信種別		火災通報	救急通報	その他の災害通報	災害通報小計	訓練通報	火災救急問い合わせ	いたずら	医療機関問い合わせ	誤ってかけた	苦情・相談・届出	その他応答無し	途中で切れた	試験	非災害通報小計	合計
受信方法																
火災報知専用電話	加入電話119番	143 (81)	3,504 (3,417)	40 (25)	3,687 (3,523)	748 (796)	104 (81)	91 (54)	63 (30)	436 (298)	153 (122)	99 (188)		349 (306)	2,043 (1,875)	5,730 (5,398)
	IP電話119番	3 (8)	126 (40)	4 (1)	133 (49)	23 (18)	4 (2)	(1)	1	10 (2)	7 (4)	(4)	3	278 (313)	326 (344)	459 (393)
	携帯電話119番	89 (51)	1,249 (945)	50 (20)	1,388 (1,016)	40 (20)	37 (19)	17 (10)	22 (30)	146 (130)	48 (46)	54 (34)	(7)	402 (18)	766 (314)	2,154 (1,330)
小計		235 (140)	4,879 (4,402)	94 (46)	5,208 (4,588)	811 (834)	145 (102)	108 (65)	86 (60)	592 (430)	208 (172)	153 (226)	3 (7)	1,029 (637)	3,135 (2,533)	8,343 (7,121)
緊急有線電話(ご縁ネット)		3 (2)	45 (27)	2	50 (29)					8	3	9		2	22 0	72 (29)
福祉緊急システム			25 (33)		25 (33)		4			131 (127)	2 (4)	13 (9)		222 (218)	372 (358)	397 (391)
専用電話(ホットライン)			25 (17)		25 (17)					8		14			22 0	47 (17)
加入電話		8 (10)	170 (322)	46 (79)	224 (411)	1					8				9 0	233 (411)
駆け付け		1 (1)	29 (49)	1 (2)	31 (52)									10	10 0	41 (52)
計		247 (153)	5,173 (4,850)	143 (127)	5,563 (5,130)	812 (834)	149 (102)	108 (65)	86 (60)	739 (557)	221 (176)	189 (235)	3 (7)	1,263 (855)	3,570 (2,891)	9,133 (8,021)

( ) 内は前年中の受信件数

## ●過去4年間における実災害119番受信状況の推移 (加入電話119・携帯119・IP119のみ)



## ●消防テレホンガイド利用状況 (0853-23-0119)

●火災や、各種災害の情報を住民の皆様にご提供するため、専用電話による消防テレホンガイド装置を運用しており、その利用状況は次のとおりです。

平成19年(2007)中

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
回数	9,731	4,088	13,765	5,741	8,407	5,521	5,865	9,375	5,809	8,531	5,876	5,086	87,795

## ●119番受信時の口頭指導実施状況

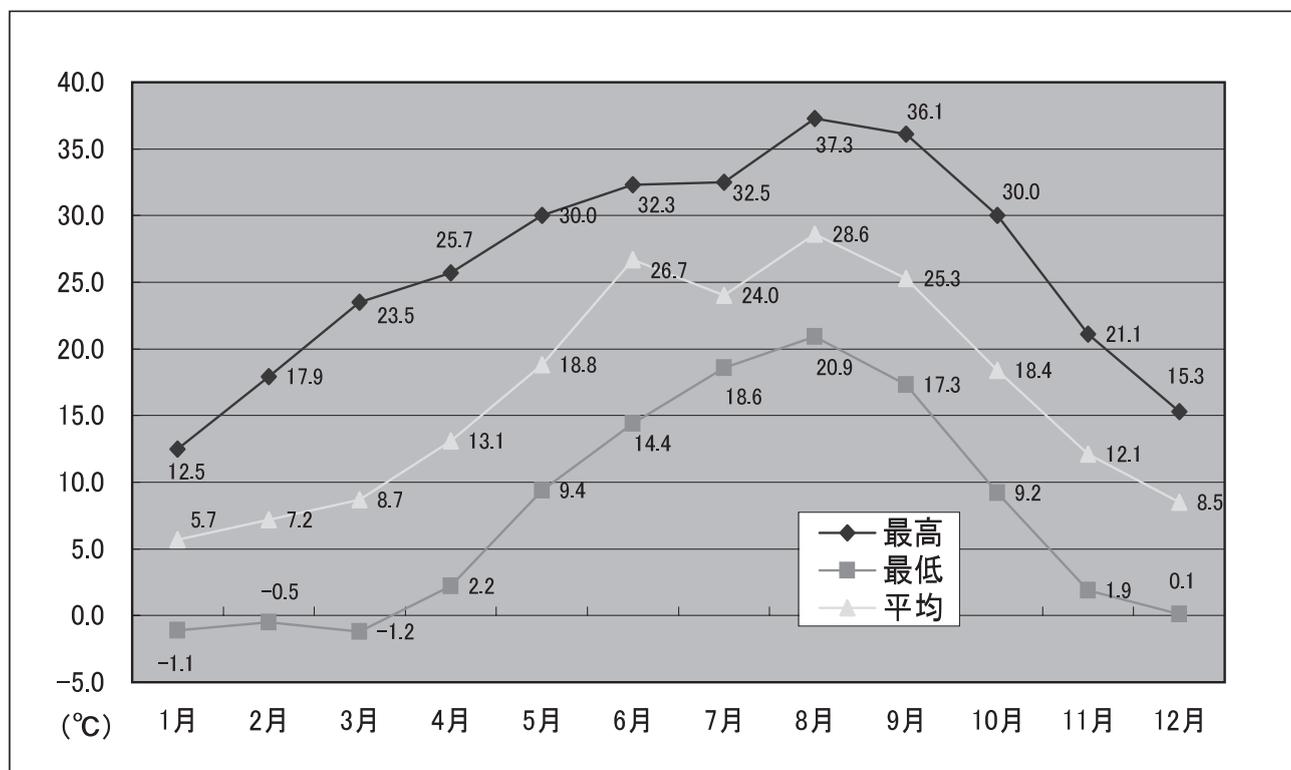
平成19年(2007)中

指導内容 \ 事故種別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
止血	121	4	25	75	17
固定	0				
人工呼吸	6	4		1	1
心臓マッサージ	60	41		5	14
心肺蘇生	92	72		10	10
気道確保	61	55	1	3	2
保温	4	2	1	1	
被覆	0				
異物除去	10	3		7	
切断指冷却	1				1
冷却	6	3		3	
体位	130	120		5	5
その他	7	4		2	1
合計	498	308	27	112	51

# 気象状況

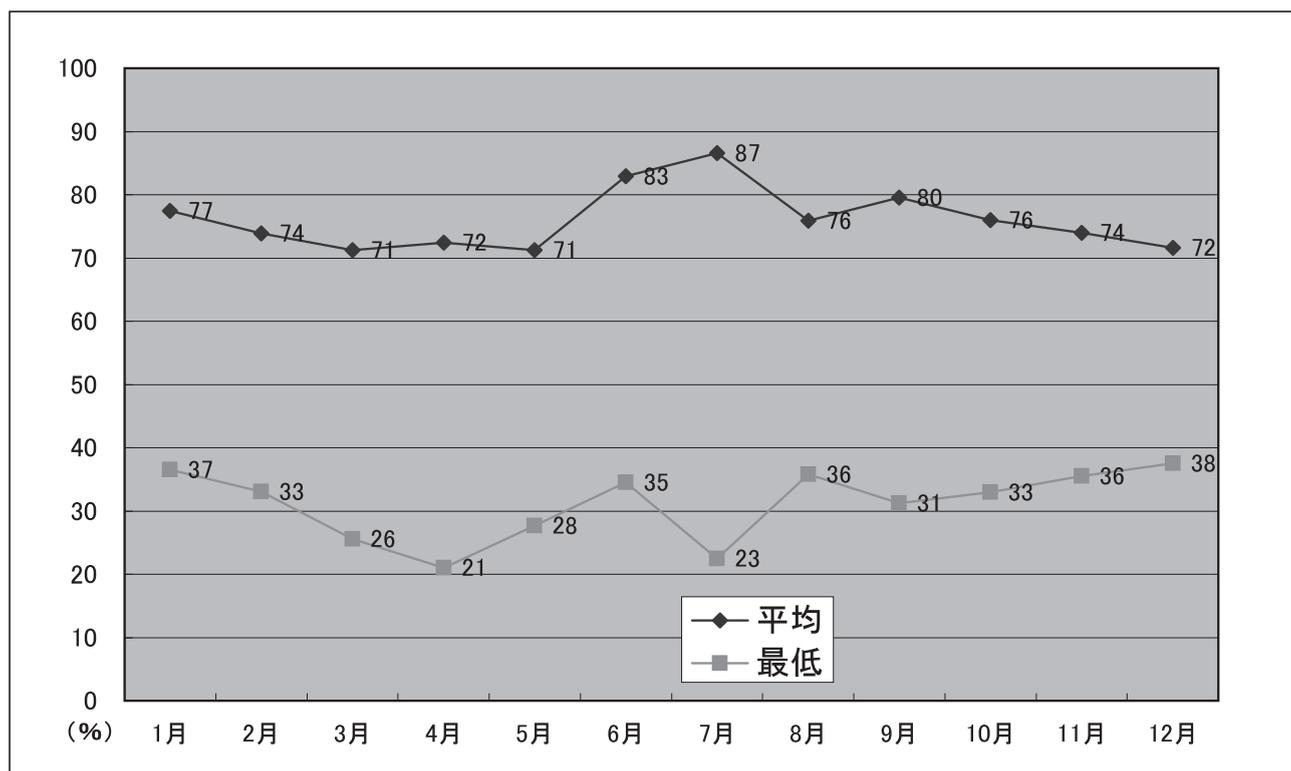
## ●気温 (°C) 【出雲市消防本部観測】

平成19年(2007)中



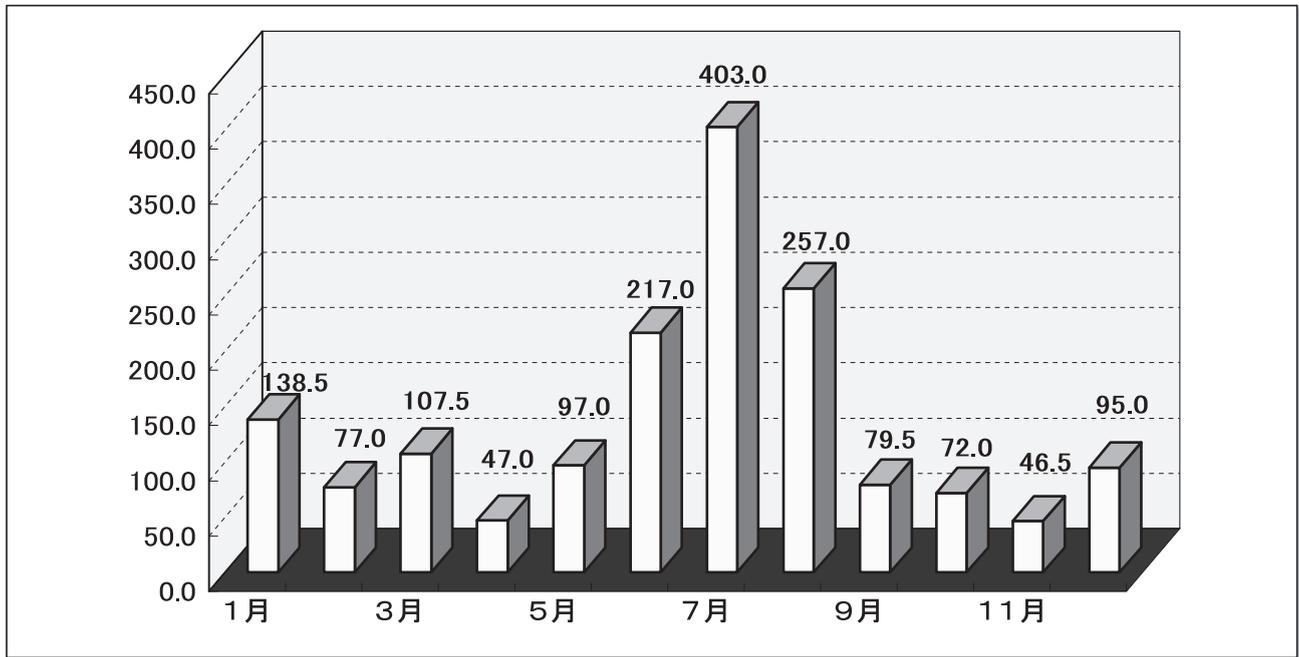
## ●湿度 (%) 【出雲市消防本部観測】

平成19年(2007)中



●降雨量 (mm) 【出雲市消防本部観測】

平成19年(2007)中  
総雨量 1,637.0mm



●風向・風速【出雲市消防本部観測】

平成19年(2007)中

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
最多風向		東	東	東	西北西	西北西	西	東北東	東、西 西北西	東	東	東	北西	東
平均風速		3.0	3.6	4.0	3.0	4.0	3.0	3.1	2.8	2.7	2.8	3.2	4.2	3.3
最大風速		29.6	31.0	29.1	20.2	25.4	18.1	19.7	19.8	14.6	20.9	21.0	25.0	31.0
風速10mを超えた日		17	20	27	20	26	14	17	18	14	19	19	24	235

●気象警報等発令状況【出雲市消防本部観測】

平成19年(2007)中

区分	月別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災気象通報		22	2	2	5	3	6		1	2				1
警報	暴風	2			1					1				
	波浪	3		1	1									1
	大雨	6						1	1	3		1		
	大雪	0												
	洪水	6						1	1	3		1		
計		39	2	3	7	3	6	2	3	9	0	2	0	2

※警報等の解除については回数に含まない。



# 消防団



出雲市消防団旗と消防本部旗



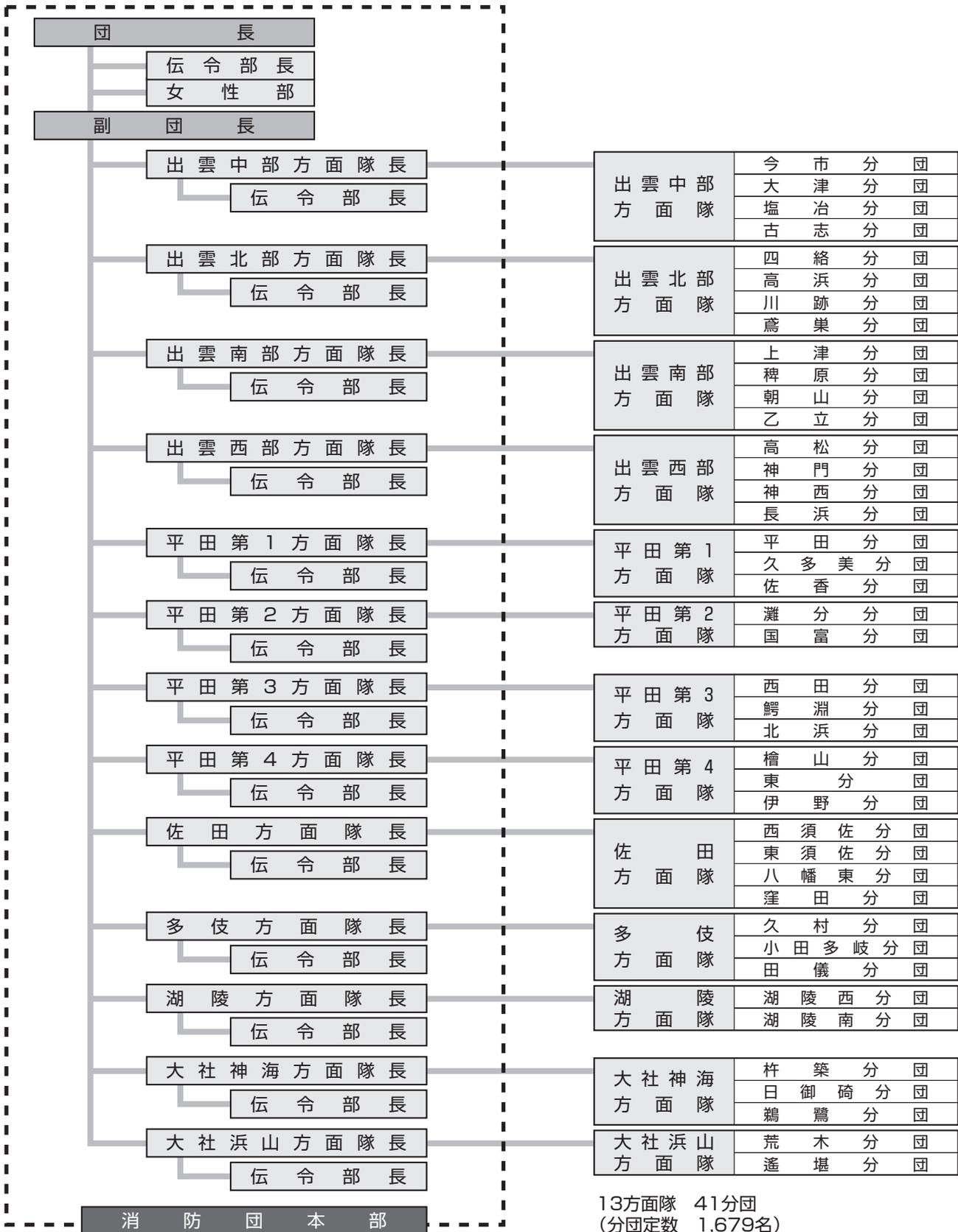
全国女性消防操法大会参加



高機能消防車受納式

# 出雲市消防団

## ●組織図



(団本部定数 59名)

## ●階級別人員数

(単位：人)

階級	団長	副団長 方面隊長含む	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
人数	1	18	41	61	143	178	1,248	1,690

## ●報酬（年額）

(単位：円)

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額	70,000	50,000	38,000	29,000	25,000	22,000	17,500

## ●諸手当

(単位：円)

区分	出場手当（1回あたり）		機 関 員 手 当（年額）		
	災害出場	訓練出場	消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車	小型ポンプ
単価	3,700	3,700	11,500	11,500	11,500

## ●団員の年齢

(単位：人)

年齢区分	人数
18歳～20歳	1
21歳～25歳	71
26歳～30歳	238
31歳～35歳	457
36歳～40歳	429
41歳～45歳	255
46歳～50歳	129
51歳～55歳	66
56歳～	44
合計	1,690
平均年齢	37.3歳

## ●団員の在職年数

(単位：人)

年数	人数
5年未満	706
5年以上10年未満	432
10年以上15年未満	274
15年以上20年未満	144
20年以上25年未満	80
25年以上30年未満	29
30年以上	25
合計	1,690

## ●消防ポンプ・消防用車両の現況

(単位：台)

区分	台数
消防ポンプ自動車	2
小型動力ポンプ	20
小型動力ポンプ付積載車	113
その他の車両	2
合計	137

## ●団員の職業別

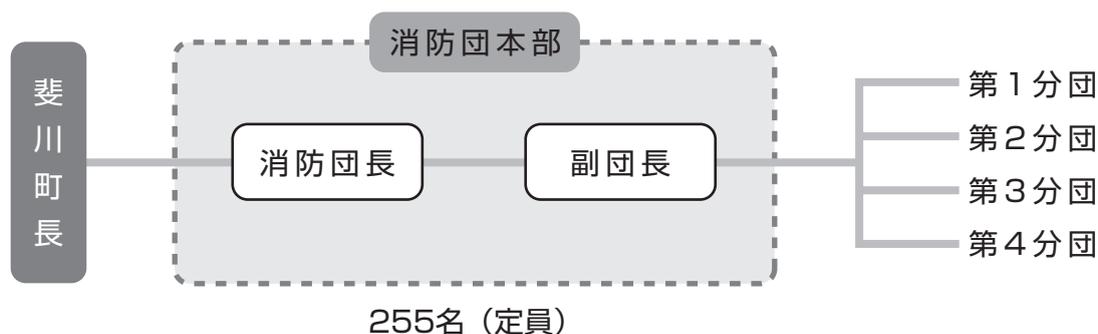
(単位：人)

職業	人数
農業	39
林業	14
漁業	21
鉱業	10
建設業	402
製造業	366
電気・ガス熱供給・水道業	70
運輸通信業	59
卸売・小売業飲食業	174
保険金融業	25
不動産業	3
サービス業	306
公務	141
その他	60
合計	1,690

# 消防事務受託先 (斐川町)

## 【斐川町消防団】

### ●組織図



### ●階級別人員数

(単位：人)

階級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長 班 長	団 員
斐川町	254	1	2	4	8	24	48	167

### ●報酬 (年額)

(単位：円)

階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長 班 長	団 員
斐川町	65,000	50,000	36,000	30,000	25,000	23,000	21,000

### ●諸手当

(単位：円)

区分	出場手当 (1回当たり)		機 関 員 手 当 (年額)		
	災害出場	訓練出場	消防ポンプ自動車	小型ポンプ積載車	小型ポンプ
斐川町	3,000	3,000	15,000	15,000	

### ●団員の年齢

(単位：人)

年 齢	斐川町
合 計	254
18歳 ~ 20歳	0
21歳 ~ 25歳	7
26歳 ~ 30歳	41
31歳 ~ 35歳	65
36歳 ~ 40歳	74
41歳 ~ 45歳	44
46歳 ~ 50歳	12
51歳 ~ 55歳	8
56歳 ~	3
平均年齢	36.7歳

### ●団員の在職年数

(単位：人)

年 数	斐川町
合 計	254
5年未満	176
5年以上10年未満	48
10年以上15年未満	14
15年以上20年未満	9
20年以上25年未満	4
25年以上30年未満	1
30年以上	2

### ●消防ポンプ・消防用車両の現況

(単位：台)

区 分	斐川町
合 計	25
消防ポンプ自動車	2
小型動力ポンプ	
小型動力ポンプ積載車	22
その他の車両	1

### ●団員職業別

(単位：人)

区 分	階 級									合 計
		団 長	副団長	本部長	分団長	副分団長	部 長	副部長	団 員	
農 業			1		1	1			8	11
漁 業									2	2
鉱 業										0
建 設 業		1			1	2	4	3	30	41
製 造 業						2	10	1	54	67
電気・ガス熱供給・水道業					1				6	7
運 輸 業						1	2	2	5	10
卸売・小売業					1		2	3	9	15
複合サービス業									16	16
サ ー ビ ス 業			1			1	4	11	30	47
公 務						1	2	2	21	26
そ の 他								2	10	12
合 計		1	2	0	4	8	24	24	191	254



# 島根県水難救済会 出雲救難所



遭難者搜索



火災船消火訓練

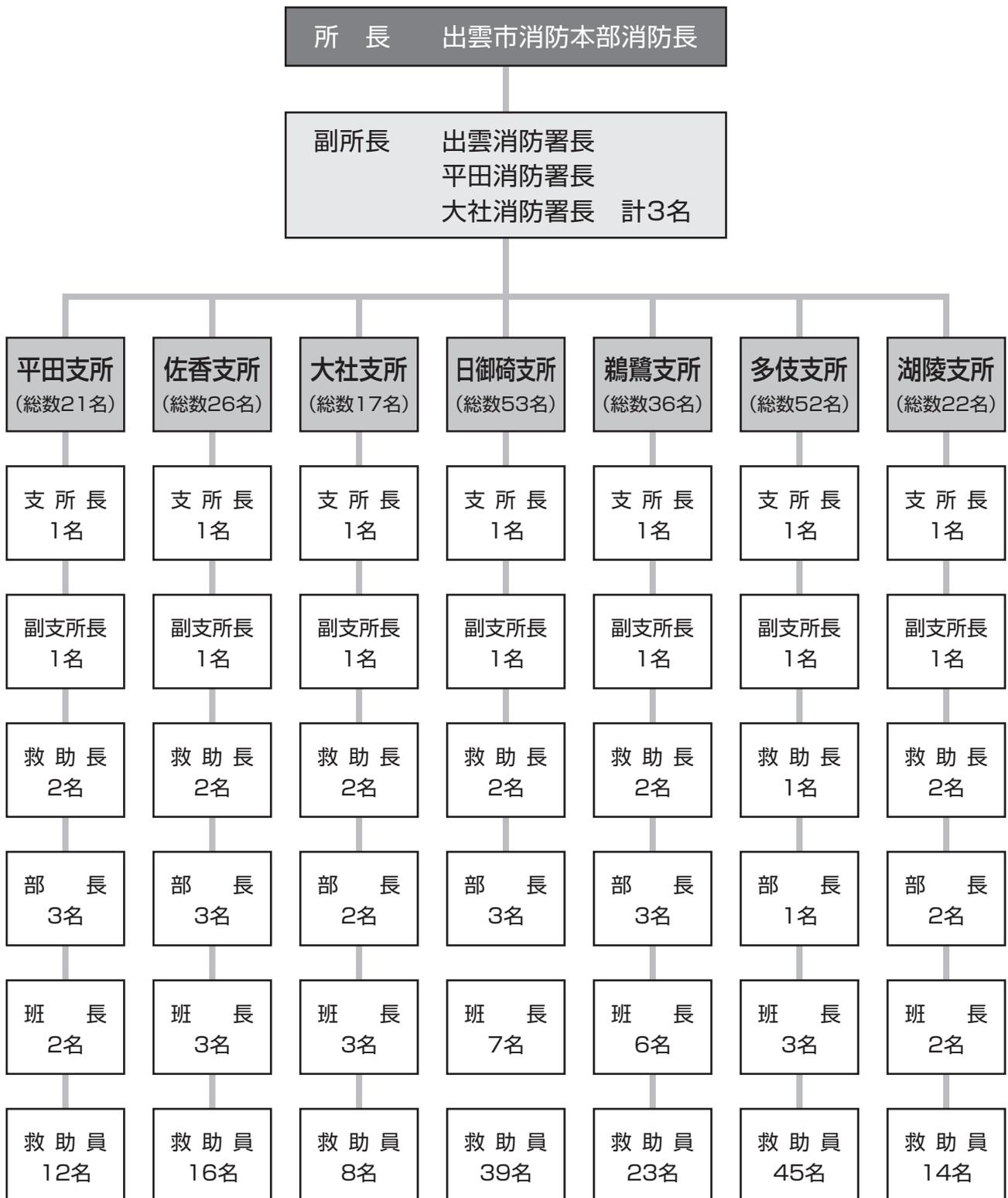


孤立者救助訓練

# 出雲救難所の 現況

【島根県水難救済会 出雲救難所】

●組織図



## ●出雲救難所の現況

### (1) 救難所員の定数及び実員

(単位：人)

階 級	区 分							
	平田支所	佐香支所	大社支所	日御碕支所	鷓鴣支所	多伎支所	湖陵支所	合 計
支 所 長	1	1	1	1	1	1	1	7
副 支 所 長	1	1	1	1	1	1	1	7
救 助 長	2	2	2	2	2	1	2	13
部 長	3	3	2	3	3	1	2	17
班 長	2	3	3	7	6	3	2	26
救 助 員	12	16	8	39	23	45	14	157
合 計	21	26	17	53	36	52	22	227

### (2) 救難所器具保有状況

階 級	区 分							
	平田支所	佐香支所	大社支所	日御碕支所	鷓鴣支所	多伎支所	湖陵支所	合 計
救 命 索 発 射 銃	3	1	5					9
救 命 浮 環	10	2	23	2	8	10		55
救 命 胴 衣	50		25	73	48	52	12	260
保 安 帽	15	15	17	53	36	52	22	210
救 助 用 担 架			2	1				3
携 帯 用 拡 声 器	1		5	1	1	1		9
K P ロ ー プ ( 不 沈 )			1	1	1			3
ロ ー プ	2	1	4	5	5			17
洋 上 救 急 バ ッ ク			3					3
ゴ ム ボ ー ト ( 7 、 8 人 乗 )			2					2
ウ エ ッ ト ス ー ツ	8		7					15
携 帯 用 発 電 機			4					4
ヘ ッ ド ラ ン プ			10			5	1	16
水 中 ラ イ ト			1					1
強 カ ラ イ ト			1			10		11
ブ リ チ ェ ス ブ イ			1					1
地 引 網			1					1
磯 足 長 靴			6					6
双 眼 鏡	5	1	4			1		11
オ イ ル フェ ン ス			一式(70m)					一式(70m)
毛 布			1	4	1			6
救 助 用 縛 帯			4					4
レ サ シ ア ン ( 成 人 )			3					3
排 水 ポ ン プ				1	2			3
ト ビ				4				4
ト ラ ン シ ー バ ー	8					2		10
旗	3					8	4	15
ス ロー バ ッ グ ( 2 5 M )						3		3

### (3) 過去3ヶ年の災害等出動状況

区分等		年 別			
		16 年	17 年	18 年	19 年
訓 練	件 数	3	2	2	6
	出動人員	148	156	145	254
水 難 救 助	件 数	3	7	3	3
	出動人員	9	62	27	32
合 計	件 数	6	9	5	9
	出動人員	157	216	172	286

### (4) 救難所員勤続年数

(単位：人)

年 数	階 級						
	支所長	副支所長	救助長	部 長	班 長	救助員	合 計
5年未満	2	2	5	8	7	67	91
5 年 ～ 9 年	1	1	1	2	9	58	72
10年 ～ 14年	0	0	1	2	3	5	11
15年 ～ 19年	1	1	0	1	2	8	13
20年 ～ 24年	0	1	3	3	2	7	16
25年 ～ 29年	0	1	2	1	2	4	10
30年 ～ 34年	1	1	0	0	1	4	7
35年 ～ 39年	1	0	1	0	0	2	4
40年以上	1	0	0	0	0	2	3
合 計	7	7	13	17	26	157	227

### (5) 救難所員の年齢

(単位：人)

年 齢	階 級						
	支所長	副支所長	救助長	部 長	班 長	救助員	合 計
20歳未満	0	0	0	0	0	1	1
20歳 ～ 24歳	0	0	0	0	0	0	0
25歳 ～ 29歳	0	0	0	0	0	4	4
30歳 ～ 34歳	0	0	0	0	1	9	10
35歳 ～ 39歳	0	0	0	0	5	20	25
40歳 ～ 44歳	0	0	2	3	4	5	14
45歳 ～ 49歳	1	1	0	3	2	13	20
50歳 ～ 54歳	0	0	4	1	3	10	18
55歳 ～ 59歳	1	2	5	3	4	25	40
60歳以上	5	4	2	7	7	70	95
合 計	7	7	13	17	26	157	227

---

名 称	消防年報(平成19年版)
発 行	出雲市消防本部 〒693-0004 出雲市渡橋町253番地1 ☎0853(21)2119(代)
編 集	出雲市消防本部 指令課
発 行	平成20年(2008)8月
印 刷	島根印刷株式会社

---



# ANNUAL-REPORT 2007